

白馬村総合計画策定のための
村民アンケート

調査結果報告

目次

調査の概要	2
調査結果集計	3
記述回答	40

平成27年6月
長野県白馬村

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、白馬村民の村政に対する意識を把握し、第5次総合計画策定の際の基礎資料とし、白馬村の将来像に役立てることを目的とします。

2 調査項目

本調査は、次の事項について、意識、意向調査を実施します。

- ① 白馬村の施策に対する満足度と課題について
- ② 白馬村の将来像について
- ③ 白馬村の開発規制について
- ④ 地域活動や協働への参加について
- ⑤ 防災対策について
- ⑥ その他、村に対する希望、意見等について

3 調査方法

- ① 調査対象 20歳以上の村民2,000人（男女各1,000人）を無作為抽出
- ② 郵送により調査票を配布、郵送により回収
- ③ 調査期間 平成27年3月～4月
- ③ 配布票数2,000／回収票数959／回収率48.0%

4 集計上の留意点

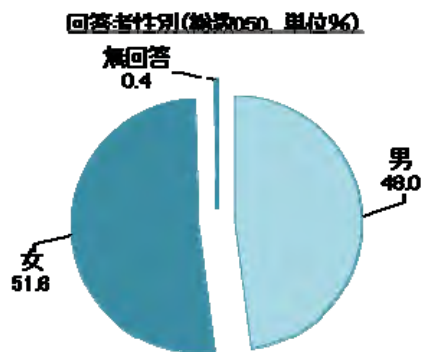
- ① 特に注記していない回答は単回答（1つに○）です。
- ② 複数回答については、（総数959、3つまで複数回答、単位%）などのように注記しました。
- ③ 百分率（%）は小数点第二位を四捨五入して小数点第一位までを表記しました。したがって、単回答の設問では、百分率の合計が100にならないことがあります。
- ③ 複数回答において、百分率の分母（%ベース）は回答者数としました。したがって、回答数の合計が回答者数を超えることがあります。また、百分率の合計が100を超えることがあります。

【調査結果集計】

I あなたご自身に関する質問

問1 あなたの性別は？

	回答数	割合(%)
男	460	48.0
女	495	51.6
無回答	4	0.4
回答者総数(%ベース)	959	100



○回答者総数959人の内訳は、男性48.0%(460人)、女性51.6%(495人)、「無回答」が0.4%(4人)です。

問2 あなたの年齢は？

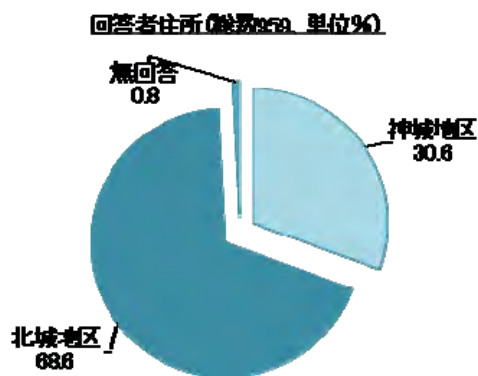
	回答数	割合(%)
10歳代	2	0.2
20歳代	45	4.7
30歳代	77	8.0
40歳代	180	18.8
50歳代	175	18.2
60歳代	276	28.8
70歳以上	197	20.5
無回答	7	0.7
回答者総数(%ベース)	959	100



○年齢別では、「60歳代」が28.8%(276人)と最も多く、次いで「70歳以上」20.5%(197人)、「40歳代」18.8%(180人)、「50歳代」18.2%(175人)です。

問3 あなたのお住まいは？

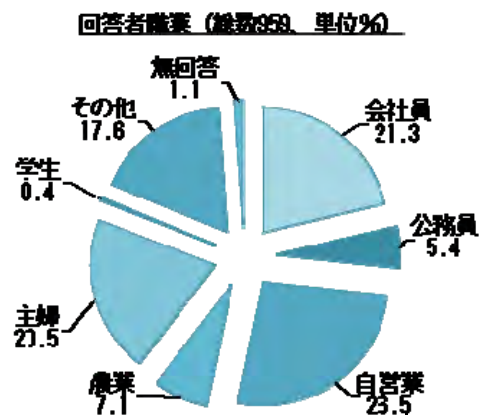
	回答数	割合(%)
神城地区	293	30.6
北城地区	658	68.6
無回答	8	0.8
回答者総数(%ベース)	959	100



○「北城地区」が68.6%(658人)、「神城地区」が30.6%(293人)です。

問4 あなたの職業は？(兼業の場合は主たる職業についてお答えください。)

	回答数	割合(%)
会社員	204	21.3
公務員	52	5.4
自営業	254	26.5
農業	68	7.1
主婦	197	20.5
学生	4	0.4
その他	169	17.6
無回答	11	1.1
回答者総数(%ベース)	959	100



○「自営業」が26.5%(254人)と最も多く、次いで「会社員」21.3%(204人)、「主婦」20.5%(197人)などとなっています。

問5 あなたの家族は？ ご自身を含めて何人ですか？

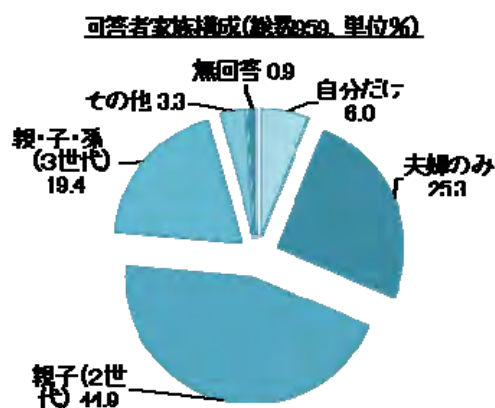
	回答数	割合 (%)
1人	57	5.9
2人	260	27.1
3人	216	22.5
4人	192	20.0
5人	109	11.4
6人	72	7.5
7人	35	3.6
8人	5	0.5
9人	2	0.2
10人以上	3	0.3
無回答	8	0.8
回答者総数 (%ベース)	959	100



○「2人」が27.1%(260人)と最も多く、次いで「3人」22.5%(216人)、「4人」20.0%(192人)などとなっています。

問6 家族構成は？

	回答数	割合 (%)
自分だけ	58	6.0
夫婦のみ	243	25.3
親子(2世代)	431	44.9
親・子・孫(3世代)	186	19.4
その他	32	3.3
無回答	9	0.9
回答者総数 (%ベース)	959	100

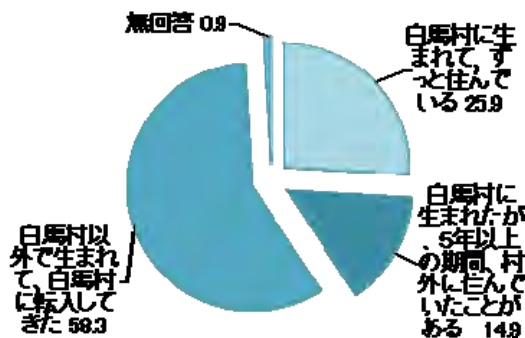


○「親子(2世代)」が44.9%(431人)と最も多く、次いで「夫婦のみ」25.3%(243人)、「親・子・孫(3世代)」19.4%(186人)などとなっています。「自分だけ」も6.0%(58人)見られます。

問7 あなたは白馬村にどのくらいお暮らしですか？(お住まいの経歴)

	回答数	割合(%)
白馬村に生まれて、ずっと住んでいる	248	25.9
白馬村に生まれたが、5年以上の期間、村外に住んでいたことがある	143	14.9
白馬村以外で生まれて、白馬村に転入してきた	559	58.3
無回答	9	0.9
回答者総数(%ベース)	959	100

回答者居住歴(総数959、単位%)

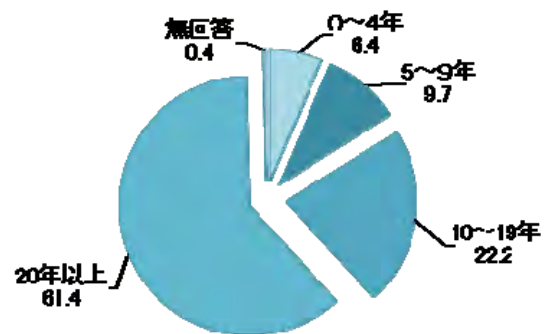


○「白馬村以外で生まれて、白馬村に転入してきた」とする人が58.3%(559人)と半数を超えています。「白馬村に生まれて、ずっと住んでいる」人が25.9%(248人)、「白馬村に生まれたが、5年以上の期間、村外に住んでいたことがある」人が14.9%(143人)です。

問8 転入された方は、白馬村に住んで何年になりますか？(累計で結構です)

	回答数	割合(%)
0～4年	36	6.4
5～9年	54	9.7
10～19年	124	22.2
20年以上	343	61.4
無回答	2	0.4
回答者総数(%ベース)	559	100

転入者の居住年数(総数559、単位%)



○転入者のうち、「20年以上」居住している人が61.4%(343人)と半数を超え、次いで「10～19年」が22.2%(124人)、「5～9年」が9.7%(54人)となっています。

II 現在の白馬村の住みごころ

問9 あなたが感じている白馬村の「満足度」についてお答えください。各項目について、該当する番号を1つずつ選んでください。

分野	項目	満足度(上段:回答数/下段:割合(%))					
		不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
環境保全	ア. 自然環境や景観の保全 (総数959)	68 7.1	156 16.3	266 27.7	339 35.3	121 12.6	9 0.9
	イ. 美化運動の推進 (総数959)	61 6.4	214 22.3	424 44.2	214 22.3	34 3.5	12 1.3
	ウ. 環境浄化対策(屋外広告、案内板、自販機設置規制等) (総数959)	75 7.8	190 19.8	443 46.2	197 20.5	39 4.1	15 1.6
	エ. 緑化事業の推進 (総数959)	63 6.6	175 18.2	510 53.2	159 16.6	35 3.6	17 1.8
	オ. 青少年への自然保護教室 (総数959)	73 7.6	202 21.1	543 56.6	99 10.3	20 2.1	22 2.3
	カ. 里山の保全 (総数959)	91 9.5	248 25.9	426 44.4	150 15.6	28 2.9	16 1.7
	キ. 地球温暖化対策 (総数959)	97 10.1	222 23.1	521 54.3	78 8.1	16 1.7	25 2.6

○満足度高い「自然環境や景観の保全」

全体として、「どちらともいえない」が40～50%台を占め、これに「やや不満」が20%台で続いています。これに対し、「ア. 自然環境や景観の保全」では、「やや満足」35.3%(339人)が最も多く、これに「どちらともいえない」が27.7%(266人)と続き、「満足」も12.6%(121人)と比較的高い値を示しています。また、「ウ. 環境浄化対策(屋外広告、案内板、自販機設置規制等)」は、「どちらともいえない」が46.2%(443人)で最も多く、「やや満足」が20.5%(197人)でこれに次ぎ、ともに全体として満足度が高いことが分かります。

年代別●「ア. 自然環境や景観の保全」に対する満足度

上段: 回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
全体	959 100.0	68 7.1	156 16.3	266 27.7	339 35.3	121 12.6	9 0.9
10歳代	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	- -	7 15.6	9 20.0	21 46.7	8 17.8	- -
30歳代	77 100.0	6 7.8	9 11.7	23 29.9	24 31.2	15 19.5	- -
40歳代	180 100.0	10 5.6	28 15.6	54 30.0	59 32.8	29 16.1	- -
50歳代	175 100.0	14 8.0	31 17.7	45 25.7	68 38.9	17 9.7	- -
60歳代	276 100.0	24 8.7	45 16.3	79 28.6	99 35.9	26 9.4	3 1.1
70歳以上	197 100.0	13 6.6	33 16.8	55 27.9	67 34.0	25 12.7	4 2.0
無回答	7 100.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6

○「20歳代」で特に高い「ア. 自然環境や景観の保全」に対する満足度

「ア. 自然環境や景観の保全」に対する満足度を年代別に見ると、いずれも「やや満足」が30～40%台ですが、特に「20歳代」が46.7% (21人)と高く、さらに「やや満足」と「満足」を合わせると64.5% (29人)で、20歳代の半数を超える人が満足と答えています。

分野	項目	満足度(上段:回答数/下段:割合(%))					
		不満	やや不満	どちらとも いけない	やや満足	満足	無回答
基盤整備・生活環境	ク. 身近な生活道路の整備	187	288	221	219	29	15
	(総数959)	19.5	30.0	23.0	22.8	3.0	1.6
	ケ. 下水道の整備	93	129	325	270	131	11
	(総数959)	9.7	13.5	33.9	28.2	13.7	1.1
	コ. 河川環境の整備	71	171	398	250	55	14
	(総数959)	7.4	17.8	41.5	26.1	5.7	1.5
	サ. 除雪・融雪など雪対策の充実	88	179	227	343	111	11
	(総数959)	9.2	18.7	23.7	35.8	11.6	1.1
	シ. 消防・防災対策の充実	42	117	391	329	67	13
	(総数959)	4.4	12.2	40.8	34.3	7.0	1.4
ス. 防犯灯など防犯対策	89	236	366	214	44	10	
(総数959)	9.3	24.6	38.2	22.3	4.6	1.0	
セ. ごみの分別、リサイクル活動の推進	71	201	358	261	53	15	
(総数959)	7.4	21.0	37.3	27.2	5.5	1.6	

○「ク. 身近な生活道路の整備」で高い不満度

全体的に「どちらともいけない」が30～40%台で最も多くなっていますが、「ク. 身近な生活道路の整備」では「やや不満」が30.0% (288人)と最も高く、また「サ. 除雪・融雪など雪対策の充実」では「やや満足」が35.8% (343人)と最も高くなっています。

地域別●「ク. 身近な生活道路の整備」に対する満足度

上段:回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらとも いけない	やや満足	満足	無回答
全体	959	187	288	221	219	29	15
	100.0	19.5	30.0	23.0	22.8	3.0	1.6
神城地区	293	57	89	64	67	13	3
	100.0	19.5	30.4	21.8	22.9	4.4	1.0
北城地区	658	129	196	156	150	16	11
	100.0	19.6	29.8	23.7	22.8	2.4	1.7
無回答	8	1	3	1	2	-	1
	100.0	12.5	37.5	12.5	25.0	-	12.5

○いずれの地区も「身近な生活道路の整備」に対する満足度は低い

「ク. 身近な生活道路の整備」について地区別に見ると、神城地区で30.4% (89人)、北城地区で29.8% (196人)がともに「やや不満」と答えており、これらに「不満」を合わせると、地区を問わずともに約半数の人が不満としています。

分野	項目	満足度(上段:回答数/下段:割合(%))					
		不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
健康・福祉・ 医療	ソ. 高齢者のための施設や制度の充実 (総数959)	102 10.6	230 24.0	421 43.9	165 17.2	28 2.9	13 1.4
	タ. 障がいのある方のための施設や制度の充実 (総数959)	95 9.9	245 25.5	515 53.7	78 8.1	12 1.3	14 1.5
	チ. 子育て支援制度や施設の充実 (総数959)	77 8.0	189 19.7	496 51.7	151 15.7	28 2.9	18 1.9
	ツ. 保健・医療体制や施設の充実 (総数959)	96 10.0	269 28.1	402 41.9	159 16.6	22 2.3	11 1.1
	テ. ボランティア活動の支援 (総数959)	39 4.1	149 15.5	614 64.0	115 12.0	24 2.5	18 1.9
	ト. 健康づくり制度 (総数959)	40 4.2	112 117.0	573 59.7	193 20.1	26 2.7	15 1.6
	ナ. バリアフリー化 (総数959)	105 10.9	268 27.9	499 52.0	52 5.4	15 1.6	20 2.1

○「健康づくり制度」で高い満足度

全体的に「どちらともいえない」が40～60%台、「やや不満」が20%台を占めていますが、このうち、「やや不満」の割合が高いのは「ツ. 保健・医療体制や施設の充実」28.1%(269人)、「ナ. バリアフリー化」27.9%(268人)などです。一方、「ト. 健康づくり制度」では20.1%(193人)が「やや満足」と答えています。

男女別●「健康づくり制度」に対する満足度

上段:回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらともい えない	やや満足	満足	無回答
全体	959 100.0	40 4.2	112 11.7	573 59.7	193 20.1	26 2.7	15 1.6
男	460 100.0	14 3.0	58 12.6	282 61.3	86 18.7	13 2.8	7 1.5
女	495 100.0	26 5.3	54 10.9	289 58.4	106 21.4	13 2.6	7 1.4
無回答	4 100.0	-	-	2 50.0	1 25.0	-	1 25.0

○女性で高い「健康づくり制度」に対する満足度

「健康づくり制度」に対する満足度を男女別で見ると、ともに「どちらともいえない」が60%前後と高くなっていますが、「やや満足」と答えた人は女性で21.4%(106人)、男性で18.7%(86人)と、評価に幾分差のあることが分かります。

年代別●「健康づくり制度」に対する満足度

上段: 回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらともいえない	やや満足	満足	無回答
全体	959 100.0	40 4.2	112 11.7	573 59.7	193 20.1	26 2.7	15 1.6
10歳代	2 100.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	1 2.2	- -	32 71.1	10 22.2	2 4.4	- -
30歳代	77 100.0	6 7.8	8 10.4	41 53.2	16 20.8	5 6.5	1 1.3
40歳代	180 100.0	5 2.8	22 12.2	112 62.2	36 20.0	4 2.2	1 0.6
50歳代	175 100.0	7 4.0	21 12.0	113 64.6	30 17.1	4 2.3	- -
60歳代	276 100.0	16 5.8	34 12.3	164 59.4	51 18.5	7 2.5	4 1.4
70歳以上	197 100.0	5 2.5	26 13.2	108 54.8	47 23.9	4 2.0	7 3.6
無回答	7 100.0	- -	- -	2 28.6	3 42.9	- -	2 28.6

○「70歳代以上」で満足度が高い「健康づくり制度」

「健康づくり制度」に対する満足度を年代別に見ると、いずれも「どちらともいえない」が60%前後と最も高くなっていますが、「やや満足」では、「70歳以上」が23.9%(47人)、これに対し「50歳代」17.1%(30人)、「60歳代」18.5%(51人)と60歳代以上の層で評価にやや差が見られます。

分野	項目	満足度(上段:回答数/下段:割合(%))					
		不満	やや不満	どちらとも いけない	やや満足	満足	無回答
教育・文化	ニ. 義務教育の教育環境の充実 (総数959)	44 4.6	107 11.2	525 54.7	227 23.7	35 3.6	21 2.2
	又. 生涯学習を支援する制度や施設の充実 (総数959)	52 5.4	198 20.6	521 54.3	147 15.3	17 1.8	24 2.5
	ネ. スポーツ活動を支援する制度や施設の充実 (総数959)	68 7.1	199 20.8	424 44.2	218 22.7	30 3.1	20 2.1
	ノ. 文化活動、地域活動への支援 (総数959)	51 5.3	179 18.7	547 57.0	142 14.8	20 2.1	20 2.1
	ハ. 文化財の保護や保存 (総数959)	44 4.6	151 15.7	594 61.9	122 12.7	28 2.9	20 2.1
	ヒ. 家庭や地域内での子どもへの教育 (総数959)	49 5.1	171 17.8	585 61.0	110 11.5	21 2.2	23 2.4

○「スポーツ活動を支援する制度や施設の充実」では評価が分かれる

全体的に「どちらともいけない」が半数を超えていますが、「やや満足」では「ニ. 義務教育の教育環境の充実」が23.7%(227人)と高い半面、特に「又. 生涯学習を支援する制度や施設の充実」で「やや不満」が20.6%(198人)と高く、また、「ネ. スポーツ活動を支援する制度や施設の充実」では、「どちらともいけない」が44.2%(424人)が比較的低い半面、「やや満足」が22.7%(218人)、「やや不満」が20.8%(199人)と評価が大きく分かれる結果となっています。

男女別●「又. 生涯学習を支援する制度や施設の充実」に対する満足度

上段:回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらとも いけない	やや満足	満足	無回答
全体	959 100.0	52 5.4	198 20.6	521 54.3	147 15.3	17 1.8	24 2.5
男	460 100.0	23 5.0	113 24.6	229 49.8	76 16.5	9 2.0	10 2.2
女	495 100.0	28 5.7	84 17.0	292 59.0	70 14.1	8 1.6	13 2.6
無回答	4 100.0	1 25.0	1 25.0	- -	1 25.0	- -	1 25.0

○男性に高い「生涯学習を支援する制度や施設の充実」に対する不満度

「又. 生涯学習を支援する制度や施設の充実」に対する満足度を男女別に見ると、特に男性において「やや不満」が24.6%(113人)と高くなっています。

男女別●「ネ. スポーツ活動を支援する制度や施設の充実」に対する満足度

上段:回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
全体	959 100.0	68 7.1	199 20.8	424 44.2	218 22.7	30 3.1	20 2.1
男	460 100.0	31 6.7	105 22.8	178 38.7	121 26.3	15 3.3	10 2.2
女	495 100.0	37 7.5	94 19.0	245 49.5	95 19.2	15 3.0	9 1.8
無回答	4 100.0	- -	- -	1 25.0	2 50.0	- -	1 25.0

○評価が分かれる「スポーツ活動を支援する制度や施設の充実」

「ネ. スポーツ活動を支援する制度や施設の充実」に対する満足度を男女別に見ると、特に男性では「どちらともいえない」が38.7%(178人)と女性より低く、これに対し「やや満足」が26.3%(121人)、「やや不満」が22.8%(105人)と評価が大きく分かれています。

分野	項目	満足度(上段:回答数/下段:割合(%))					
		不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
産業・観光	フ. 特産品開発と生産振興 (総数959)	133 13.9	305 31.8	381 39.7	110 11.5	13 1.4	17 1.8
	ヘ. 観光産業の振興 (総数959)	133 13.9	274 28.6	378 39.4	137 14.3	15 1.6	22 2.3
	ホ. 観光・レクリエーション等の 拠点整備 (総数959)	150 15.6	297 31.0	370 38.6	110 11.5	11 1.1	21 2.2
	マ. 観光宣伝活動 (総数959)	114 11.9	223 23.3	427 44.5	153 16.0	22 2.3	20 2.1
	ミ. インバウンド対策 (総数959)	61 6.4	167 17.4	555 57.9	120 12.5	21 2.2	35 3.6
	ム. 各種イベントの開催 (総数959)	80 8.3	169 17.6	520 54.2	145 15.1	24 2.5	21 2.2

○不満度が高い「特産品開発と生産振興」と「観光・レクリエーション等の拠点整備」

全体的に「どちらともいえない」が40~50%を占め、これに「やや不満」が続いていますが、特に不満度が高いのが「フ. 特産品開発と生産振興」と「ホ. 観光・レクリエーション等の拠点整備」です。いずれも「不満」「やや不満」を合わせると約46%になります。同様に「観光産業の振興」も不満が40%を超えます。

分野	項目	満足度(上段:回答数/下段:割合(%))					
		不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
行政・住民 参加	メ. 男女が平等に参加できる社会づくり (総数959)	54 5.6	159 16.6	560 58.4	136 14.2	27 2.8	23 2.4
	モ. 情報化への対応 (総数959)	80 8.3	246 25.7	497 51.8	101 10.5	12 1.3	23 2.4
	ヤ. 住民参加によるまちづくりの推進 (総数959)	74 7.7	238 24.8	533 55.6	80 8.3	11 1.1	23 2.4
	ユ. 情報公開の推進 (総数959)	95 9.9	210 21.9	537 56.0	82 8.6	13 1.4	22 2.3
	ヨ. 地区に対する支援制度 (総数959)	84 8.8	234 24.4	507 52.9	101 10.5	13 1.4	20 2.1

○「情報化への対応」で不満度が高い

いずれも「どちらともいえない」が50%台で、これに「やや不満」が続いています。このうち、「不満」「やや不満」を合わせた割合が最も高いのが、「モ. 情報化への対応」34%(326人)です。

年代別●「モ. 情報化への対応」に対する満足度

上段:回答数 下段: %	合計	不満	やや不満	どちらとも いえない	やや満足	満足	無回答
全体	959 100.0	80 8.3	246 25.7	497 51.8	101 10.5	12 1.3	23 2.4
10歳代	2 100.0	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-
20歳代	45 100.0	2 4.4	15 33.3	16 35.6	11 24.4	1 2.2	-
30歳代	77 100.0	7 9.1	31 40.3	34 44.2	2 2.6	3 3.9	-
40歳代	180 100.0	20 11.1	51 28.3	83 46.1	22 12.2	3 1.7	1 0.6
50歳代	175 100.0	12 6.9	41 23.4	98 56.0	22 12.6	2 1.1	-
60歳代	276 100.0	25 9.1	67 24.3	152 55.1	22 8.0	2 0.7	8 2.9
70歳以上	197 100.0	13 6.6	39 19.8	111 56.3	21 10.7	1 0.5	12 6.1
無回答	7 100.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	1 14.3	-	2 28.6

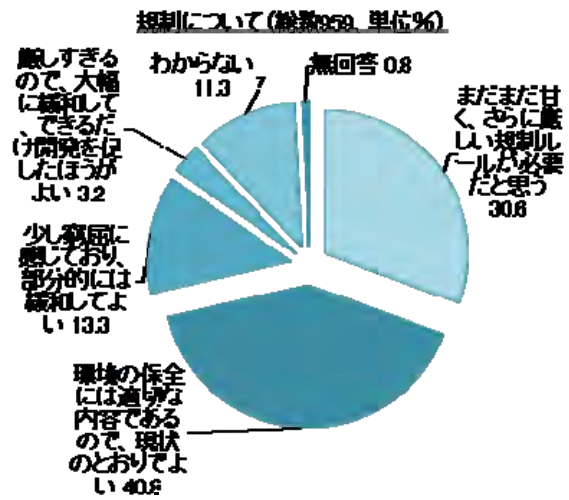
○30歳代が「情報化への対応」に大いに不満

「モ. 情報化への対応」に対する満足度を年代別に見ると、「30歳代」が「不満」「やや不満」合わせて49.4%(38人)と飛び抜けて高くなっています。

Ⅲ 白馬村の開発規制について

問10 白馬村は、自然環境や景観が村の財産であるという考えから、開発のルールや建築物・屋外広告物のルールを他の地域より厳しい内容で定めています。この村の環境行政についてどのように感じていますか？（該当するもの1つ）

	回答数	割合(%)
まだまだ甘く、さらに厳しい規制ルールが必要だと思う	293	30.6
環境の保全には適切な内容であるので、現状のとおりでよい	391	40.8
少し窮屈に感じており、部分的には緩和してよい	128	13.3
厳しすぎるので、大幅に緩和して、できるだけ開発を促したほうがよい	31	3.2
わからない	108	11.3
無回答	8	0.8
回答者総数(%ベース)	959	100



○「環境の保全には適切な内容であるので、現状のとおりでよい」が40.8%(391人)と最も多く、次いで、「まだまだ甘く、さらに厳しい規制ルールが必要だと思う」30.6%(293人)、「少し窮屈に感じており、部分的には緩和してよい」13.3%(128人)などとなっています。これに対し、「厳しすぎるので、大幅に緩和して、できるだけ開発を促したほうがよい」は3.2%(31人)と少数です。

男女別●村の環境行政に対して感じること

上段:回答数 下段: %	合計	まだまだ甘く、さらに厳しい規制ルールが必要だと思う	環境の保全には適切な内容であるので、現状のとおりでよい	少し窮屈に感じており、部分的には緩和してよい	厳しすぎるので、大幅に緩和して、できるだけ開発を促したほうがよい	わからない	無回答
全体	959 100.0	293 30.6	391 40.8	128 13.3	31 3.2	108 11.3	8 0.8
男	460 100.0	145 31.5	181 39.3	70 15.2	23 5.0	36 7.8	5 1.1
女	495 100.0	146 29.5	208 42.0	58 11.7	8 1.6	72 14.5	3 0.6
無回答	4 100.0	2 50.0	2 50.0	-	-	-	-

○部分的緩和あるいは大幅緩和を求める声は、男性が女性を上回る

男女別では、「少し窮屈に感じており、部分的には緩和してよい」で男性15.2%(70人)、「厳しすぎるので、大幅に緩和して、できるだけ開発を促したほうがよい」で男性5.0%(23人)と、いずれも女性を上回っている。

年代別●村の環境行政に対して感じること

上段:回答数 下段: %	合計	まだまだ甘く、さら に厳しい規制 ルールが必要 だと思う	環境の保全に は適切な内容 があるので、現状 のとおりでよい	少し窮屈に感じ ており、部分的 には緩和してよ い	厳しすぎるの で、大幅に緩和 して、できるだけ 開発を促したほ うがよい	わからない	無回答
全体	959 100.0	293 30.6	391 40.8	128 13.3	31 3.2	108 11.3	8 0.8
10歳代	2 100.0	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	5 11.1	28 62.2	6 13.3	- -	6 13.3	- -
30歳代	77 100.0	20 26.0	29 37.7	10 13.0	6 7.8	12 15.6	- -
40歳代	180 100.0	51 28.3	80 44.4	30 16.7	5 2.8	13 7.2	1 0.6
50歳代	175 100.0	47 26.9	70 40.0	31 17.7	7 4.0	19 10.9	1 0.6
60歳代	276 100.0	101 36.6	101 36.6	32 11.6	9 3.3	30 10.9	3 1.1
70歳以上	197 100.0	65 33.0	79 40.1	19 9.6	4 2.0	28 14.2	2 1.0
無回答	7 100.0	2 28.6	4 57.1	- -	- -	- -	1 14.3

○「20歳代」で60%以上が「現状のとおりでよい」、60歳代以上で「もっと厳しく」

「環境の保全には適切な内容であるので、現状のとおりでよい」がほとんどの年代で30～40%を占め、これに「まだまだ甘く、さらに厳しい規制ルールが必要だと思う」が20～30%台で続いているが、「20歳代」のみ、「環境の保全には適切な内容であるので、現状のとおりでよい」が60%以上の高率を示しています。また、60歳代以上で、「まだまだ甘く、さらに厳しい規制ルールが必要だと思う」割合が高くなっています。

Ⅳ これからのむらづくりについて

問11 あなたが望む将来の白馬村は、どのような村ですか？（該当するもの3つまで）

	回答数	割合(%)
恵まれた自然環境を大切にされた水や空気のきれいな村	658	68.6
歴史や文化を活かした風情がある村	88	9.2
生活基盤が整備された村	258	26.9
産業が活発な活力ある村	169	17.6
医療・福祉が充実した村	375	39.1
人と人とのふれあいが感じられる村	170	17.7
文化、スポーツなどが充実した健康な村	148	15.4
子どもたちがいきいきと育つ村	310	32.3
景観の優れた村	197	20.5
住民参加の進んだ村	59	6.2
災害に強い村	173	18.0
その他	27	2.8
無回答	6	0.6
回答者総数(%ベース)	959	100

将来の白馬村について(総数959、3つまで複数回答、単位%)



○圧倒的に「恵まれた自然環境を大切にされた水や空気のきれいな村」

「恵まれた自然環境を大切にされた水や空気のきれいな村」が圧倒的に高く68.6%(658人)、これに「医療・福祉が充実した村」39.1%(375人)、「子どもたちがいきいきと育つ村」32.3%(310人)、「生活基盤が整備された村」26.9%(258人)などが続いています。

男女別●あなたが望む白馬村の将来像

上段:回答数 下段: %	合計	恵まれた自然環境を大切に した水や空気のきれいな村	歴史や文化を活かした 風情がある村	生活基盤が整備された村	産業が活発な 活力ある村	医療・福祉が充実した村	人と人とのふれあいが 感じられる村
全体	959 100.0	658 68.6	88 9.2	258 26.9	169 17.6	375 39.1	170 17.7
男	460 100.0	304 66.1	48 10.4	112 24.3	93 20.2	162 35.2	77 16.7
女	495 100.0	351 70.9	40 8.1	145 29.3	75 15.2	211 42.6	92 18.6
無回答	4 100.0	3 75.0	- -	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0

上段:回答数 下段: %	文化、スポーツなどが 充実した健康な村	子どもたちがいきいきと 育つ村	景観の優れた村	住民参加の進んだ村	災害に強い村	その他	無回答
全体	148 15.4	310 32.3	197 20.5	59 6.2	173 18.0	27 2.8	6 0.6
男	88 19.1	134 29.1	102 22.2	28 6.1	72 15.7	12 2.6	4 0.9
女	60 12.1	174 35.2	95 19.2	30 6.1	100 20.2	15 3.0	2 0.4
無回答	- -	2 50.0	- -	1 25.0	1 25.0	- -	- -

○自然環境・医療福祉・生活基盤などで女性が男性を上回る

上位の「恵まれた自然環境を大切にされた水や空気のきれいな村」「医療・福祉が充実した村」「生活基盤が整備された村」いずれにおいても女性が男性を上回っています。男性の意見で女性を上回っているのは「産業が活発な活力ある村」「文化、スポーツなどが充実した健康な村」などです。

○40歳代以下と50歳代以上とで意識に大きな差(次ページ表)

年代別に見ると、「恵まれた自然環境を大切にされた水や空気のきれいな村」「医療・福祉が充実した村」は「50歳代」「60歳代」「70歳以上」で高く、「生活基盤が整備された村」は「20歳代」「30歳代」「40歳代」で高くなっています。また、「子どもたちがいきいきと育つ村」は、「20歳代」「30歳代」「40歳代」で40%以上と高く、50歳代以上との意識の差が大きくなっています。

年代別●あなたが望む白馬村の将来像

上段:回答数 下段: %	合計	恵まれた自然環境を大切に した水や空気のきれいな村	歴史や文化を活かした 風情がある村	生活基盤が整備された村	産業が活発な 活力ある村	医療・福祉が充実した村	人と人とのふれあいが 感じられる村
全体	959 100.0	658 68.6	88 9.2	258 26.9	169 17.6	375 39.1	170 17.7
10歳代	2 100.0	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	31 68.9	2 4.4	15 33.3	9 20.0	9 20.0	6 13.3
30歳代	77 100.0	51 66.2	9 11.7	24 31.2	18 23.4	25 32.5	9 11.7
40歳代	180 100.0	112 62.2	19 10.6	61 33.9	38 21.1	54 30.0	24 13.3
50歳代	175 100.0	127 72.6	9 5.1	45 25.7	36 20.6	73 41.7	33 18.9
60歳代	276 100.0	191 69.2	25 9.1	72 26.1	45 16.3	129 46.7	60 21.7
70歳以上	197 100.0	139 70.6	23 11.7	40 20.3	22 11.2	82 41.6	37 18.8
無回答	7 100.0	5 71.4	- -	1 14.3	1 14.3	3 42.9	1 14.3

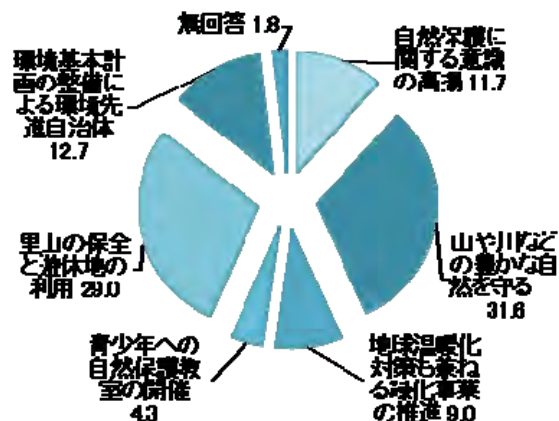
上段:回答数 下段: %	文化、スポーツなどが充実した健康な村	子どもたちがいきいきと育つ村	景観の優れた村	住民参加の進んだ村	災害に強い村	その他	無回答
全体	148 15.4	310 32.3	197 20.5	59 6.2	173 18.0	27 2.8	6 0.6
10歳代	2 100.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	14 31.1	18 40.0	14 31.1	3 6.7	7 15.6	1 2.2	- -
30歳代	14 18.2	37 48.1	15 19.5	- -	10 13.0	4 5.2	- -
40歳代	31 17.2	82 45.6	38 21.1	11 6.1	23 12.8	8 4.4	1 0.6
50歳代	36 20.6	48 27.4	38 21.7	12 6.9	32 18.3	4 2.3	3 1.7
60歳代	30 10.9	79 28.6	60 21.7	13 4.7	55 19.9	6 2.2	1 0.4
70歳以上	21 10.7	44 22.3	31 15.7	19 9.6	44 22.3	4 2.0	- -
無回答	- -	2 28.6	- -	1 14.3	2 28.6	- -	1 14.3

問12 あなたが望む白馬村となるためには、どのようなことに特に力を入れたらよいと思いますか？

[環境保全]

	回答数	割合(%)
自然保護に関する意識の高揚	112	11.7
山や川などの豊かな自然を守る	303	31.6
地球温暖化対策も兼ねる緑化事業の推進	86	9.0
青少年への自然保護教室の開催	41	4.3
里山の保全と遊休地の利用	278	29.0
環境基本計画の整備による環境先進自治体	122	12.7
無回答	17	1.8
回答者総数(%ベース)	959	100

環境保全(総数959 単位%)



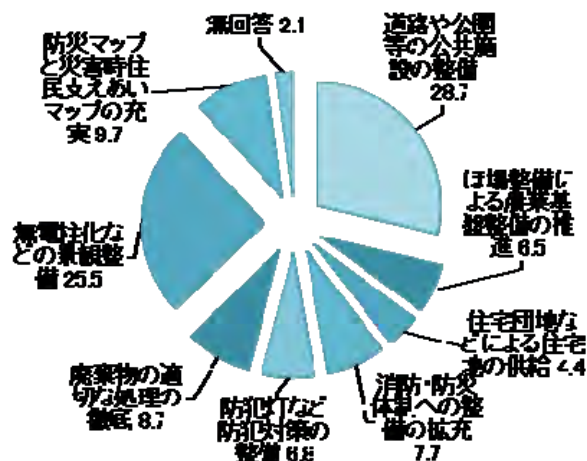
○豊かな自然を守り、かつ、遊休地を利用

「山や川などの豊かな自然を守る」が31.6%(303人)と「里山の保全と遊休地の利用」29.0%(278人)が拮抗し、これらに「環境基本計画の整備による環境先進自治体」12.7%(122人)、「自然保護に関する意識の高揚」11.7%(112人)などが続いています。

[基盤整備・生活環境]

	回答数	割合(%)
道路や公園等の公共施設の整備	275	28.7
ほ場整備による農業基盤整備の推進	62	6.5
住宅団地などによる住宅地の供給	42	4.4
消防・防災体制への整備の拡充	74	7.7
防犯灯など防犯対策の整備	65	6.8
廃棄物の適切な処理の徹底	83	8.7
無電柱化などの景観整備	245	25.5
防災マップと災害時住民支えあいマップの充実	93	9.7
無回答	20	2.1
回答者総数(%ベース)	959	100

基盤整備・生活環境(総数959 単位%)



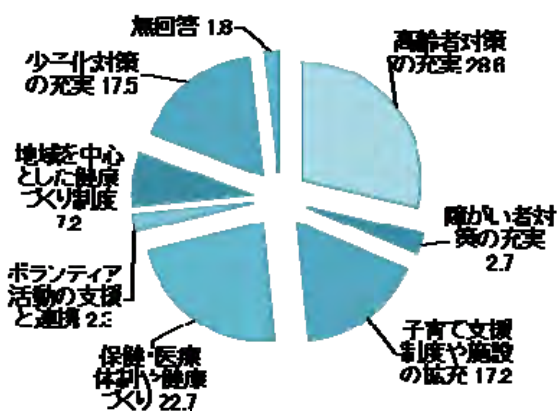
○道路・公園など公共施設の整備と景観整備

「道路や公園等の公共施設の整備」が28.7%(275人)と最も多く、次いで「無電柱化などの景観整備」25.5%(245人)、「防災マップと災害時住民支えあいマップの充実」9.7%(93人)などが続いています。

[健康・福祉・医療]

	回答数	割合(%)
高齢者対策の充実	274	28.6
障がい者対策の充実	26	2.7
子育て支援制度や施設の拡充	165	17.2
保健・医療体制や健康づくり	218	22.7
ボランティア活動の支援と連携	22	2.3
地域を中心とした健康づくり制度	69	7.2
少子化対策の充実	168	17.5
無回答	17	1.8
回答者総数(%ベース)	959	100

健康・福祉・医療(総数959 単位%)



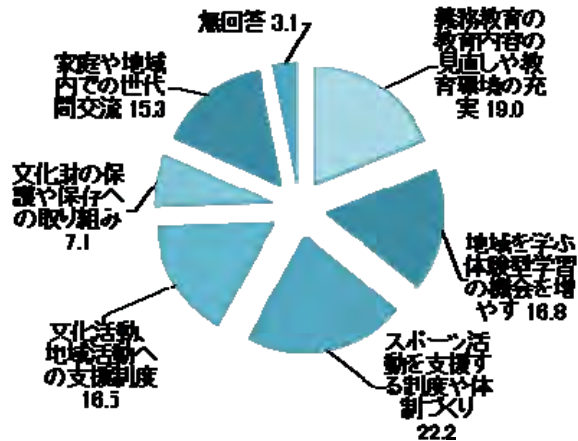
○高齢者対策と少子化対策・子育て支援

「高齢者対策の充実」が28.6%(274人)と最も多く、これに「保健・医療体制や健康づくり」22.7%(218人)、「少子化対策の充実」17.5%(168人)、「子育て支援制度や施設の拡充」17.2%(165人)などが続いています。

[教育・文化]

	回答数	割合(%)
義務教育の教育内容の見直しや教育環境の充実	182	19.0
地域を学ぶ体験型学習の機会を増やす	161	16.8
スポーツ活動を支援する制度や体制づくり	213	22.2
文化活動、地域活動への支援制度	158	16.5
文化財の保護や保存への取り組み	68	7.1
家庭や地域内での世代間交流	147	15.3
無回答	30	3.1
回答者総数(%ベース)	959	100

教育・文化(総数959 単位%)



○全体に意見・要望が分散

全体に意見・要望が分散しています。「スポーツ活動を支援する制度や体制づくり」22.2%(213人)、「義務教育の教育内容の見直しや教育環境の充実」19.0%(182人)、「地域を学ぶ体験型学習の機会を増やす」16.8%(161人)、「文化活動、地域活動への支援制度」16.5%(158人)などが上位にあります。

年代別●特に力を入れたい分野[健康・福祉・医療]

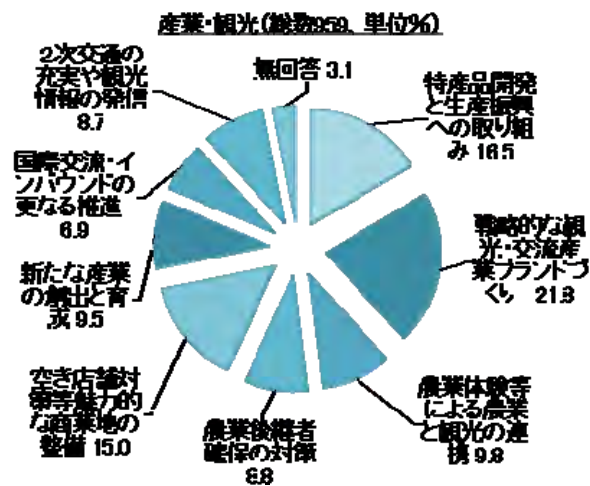
上段:回答数 下段: %	合計	高齢者対策の充実	障がい者対策の充実	子育て支援制度や施設の拡充	保健・医療体制や健康づくり	ボランティア活動の支援と連携	地域を中心とした健康づくり制度	少子化対策の充実	無回答
全体	959 100.0	274 28.6	26 2.7	165 17.2	218 22.7	22 2.3	69 7.2	168 17.5	17 1.8
10歳代	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -
20歳代	45 100.0	7 15.6	2 4.4	16 35.6	5 11.1	- -	5 11.1	10 22.2	- -
30歳代	77 100.0	11 14.3	4 5.2	30 39.0	12 15.6	1 1.3	3 3.9	16 20.8	- -
40歳代	180 100.0	37 20.6	5 2.8	47 26.1	42 23.3	1 0.6	7 3.9	40 22.2	1 0.6
50歳代	175 100.0	55 31.4	5 2.9	22 12.6	57 32.6	3 1.7	10 5.7	21 12.0	2 1.1
60歳代	276 100.0	98 35.5	7 2.5	31 11.2	59 21.4	12 4.3	17 6.2	48 17.4	4 1.4
70歳以上	197 100.0	64 32.5	3 1.5	18 9.1	43 21.8	5 2.5	26 13.2	32 16.2	6 3.0
無回答	7 100.0	2 28.6	- -	1 14.3	- -	- -	- -	- -	4 57.1

○高齢者対策か子育て支援か、年代により大きく分かれる要望・意見

年代により要望・意見が大きく分かれているのが特徴です。20歳代から40歳代では「子育て支援制度や施設の拡充」と「少子化対策」が最も多く、50歳代以上では「高齢者対策の充実」と「保健・医療体制や健康づくり」が多くなっています。

[産業・観光]

	回答数	割合(%)
特産品開発と生産振興への取り組み	158	16.5
戦略的な観光・交流産業ブランドづくり	209	21.8
農業体験等による農業と観光の連携	94	9.8
農業後継者確保の対策	84	8.8
空き店舗対策等魅力的な商業地の整備	144	15.0
新たな産業の創出と育成	91	9.5
国際交流・インパウンドの更なる推進	66	6.9
2次交通の充実や観光情報の発信	83	8.7
無回答	30	3.1
回答者総数(%ベース)	959	100

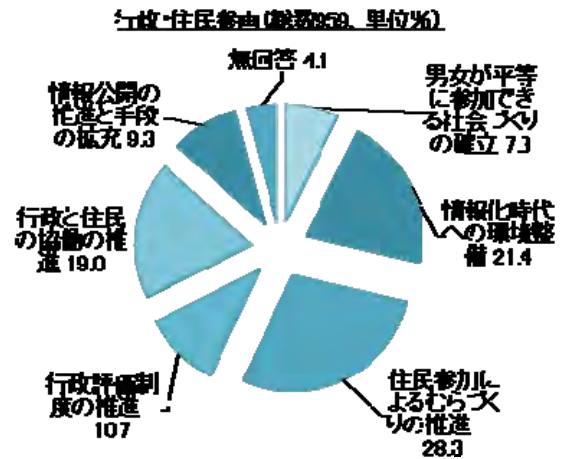


○戦略的なブランドづくりと特産品開発が重要

「戦略的な観光・交流産業ブランドづくり」が21.8%(209人)が最も多く、次いで「特産品開発と生産振興への取り組み」16.5%(158人)、「空き店舗対策等魅力的な商業地の整備」15.0%(144人)と続いています。

[行政・住民参画]

	回答数	割合(%)
男女が平等に参加できる社会づくりの確立	70	7.3
情報化時代への環境整備	205	21.4
住民参加によるむらづくりの推進	271	28.3
行政評価制度の推進	103	10.7
行政と住民の協働の推進	182	19.0
情報公開の推進と手段の拡充	89	9.3
無回答	39	4.1
回答者総数(%ベース)	959	100



○住民参加によるむらづくりを推進

「住民参加によるむらづくりの推進」が28.3%(271人)と最も多く、次いで「情報化時代への環境整備」21.4%(205人)、「行政と住民の協働の推進」19.0%(182人)と続いています。

年代別●特に力を入れたい分野[産業・観光]

上段:回答数 下段: %	合計	特産品 開発と生 産振興 への取り 組み	戦略的 な観光・ 交流産 業ブラン ドづくり	農業体 験等によ る農業と 観光の 連携	農業後 継者の 確保策	空き店舗 対策等 魅力的な 商業地 の整備	新たな産 業の創 出と育成	国際交 流・イン ハウンド の更なる 推進	2次交通 の充実 や観光 情報の 発信	無回 答
全体	959 100.0	158 16.5	209 21.8	94 9.8	84 8.8	144 15.0	91 9.5	66 6.9	83 8.7	30 3.1
10歳代	2 100.0	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	4 8.9	10 22.2	8 17.8	6 13.3	8 17.8	2 4.4	3 6.7	4 8.9	- -
30歳代	77 100.0	7 9.1	24 31.2	3 3.9	8 10.4	15 19.5	2 2.6	8 10.4	9 11.7	1 1.3
40歳代	180 100.0	31 17.2	38 21.1	12 6.7	9 5.0	41 22.8	15 8.3	15 8.3	15 8.3	4 2.2
50歳代	175 100.0	27 15.4	41 23.4	19 10.9	12 6.9	22 12.6	22 12.6	7 4.0	20 11.4	5 2.9
60歳代	276 100.0	52 18.8	66 23.9	22 8.0	20 7.2	34 12.3	35 12.7	17 6.2	23 8.3	7 2.5
70歳以上	197 100.0	37 18.8	30 15.2	29 14.7	29 14.7	22 11.2	14 7.1	16 8.1	11 5.6	9 4.6
無回答	7 100.0	- -	- -	1 14.3	- -	- -	1 14.3	- -	1 14.3	4 57.1

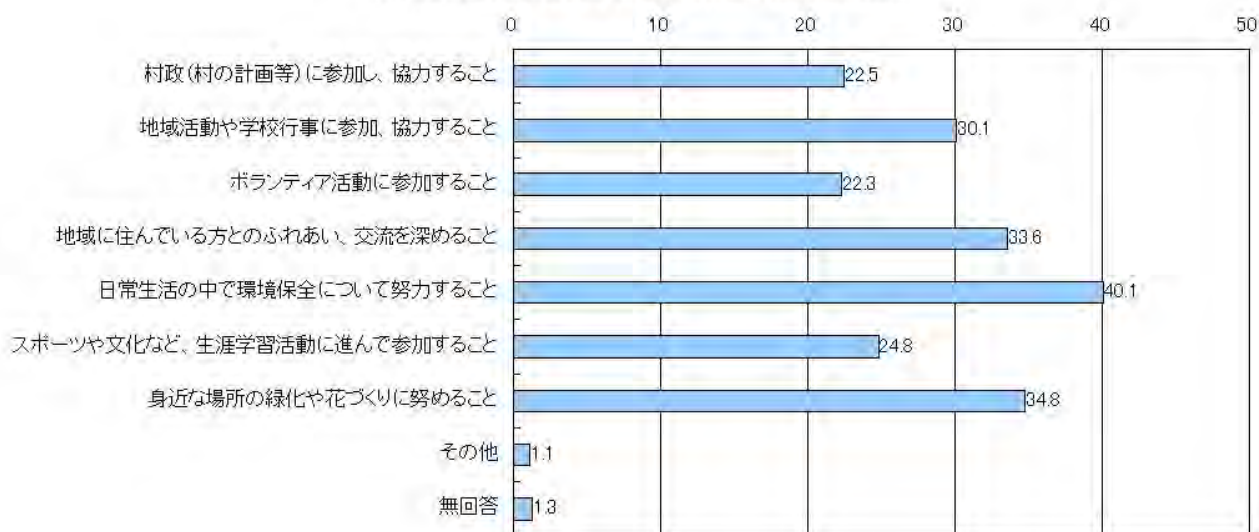
○50歳代以下では、空き店舗対策と魅力的な商業地の整備を要望

「戦略的な観光・交流産業ブランドづくり」への意見・要望が各年代とも高い一方、「10歳代」「30歳代」「40歳代」「50歳代」では「空き店舗対策等魅力的な商業地の整備」も高くなっています。

問13 住みよいむらづくりを進めていくために、あなたが協力できることは何ですか？（複数回答可）

	回答数	割合(%)
村政(村の計画等)に参加し、協力すること	216	22.5
地域活動や学校行事に参加、協力すること	289	30.1
ボランティア活動に参加すること	214	22.3
地域に住んでいる方とのふれあい、交流を深めること	322	33.6
日常生活の中で環境保全について努力すること	385	40.1
スポーツや文化など、生涯学習活動に進んで参加すること	238	24.8
身近な場所の緑化や花づくりに努めること	334	34.8
その他	11	1.1
無回答	12	1.3
回答者総数(%ベース)	959	100

住みよい村づくりに協力できること(総数959、複数回答、単位%)



○日常生活の中で環境保全について努力すること

「日常生活の中で環境保全について努力すること」が40.1%(385人)と最も高く、これに「身近な場所の緑化や花づくりに努めること」34.8%(334人)、「地域に住んでいる方とのふれあい、交流を深めること」33.6%(322人)、「地域活動や学校行事に参加、協力すること」30.1%(289人)などが続いています。

年代別●住みよい村づくりのために協力できること

上段:回答数 下段: %	合計	村政(村 の計画 等)に参 加し、協 力するこ と	地 域 活 動 や 学 校行事に 参加、協 力するこ と	ボランテ ィア活動 に参加す ること	地域に住 んでいる 方とのふ れあい、 交流を深 めること	日 常 生 活の中で 環 境 保 全につい て努力す ること	スポー ツや文化 など、生 涯学 習 活動に進 んで参加 すること	身近な場 所 の 緑 化 や 花 づくりに 努めるこ と	その他	無回 答
全体	959 100.0	216 22.5	289 30.1	214 22.3	322 33.6	385 40.1	238 24.8	334 34.8	11 1.1	12 1.3
10歳代	2 100.0	2 100.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	9 20.0	18 40.0	11 24.4	15 33.3	17 37.8	20 44.4	8 17.8	1 2.2	- -
30歳代	77 100.0	18 23.4	40 51.9	18 23.4	29 37.7	30 39.0	24 31.2	23 29.9	4 5.2	- -
40歳代	180 100.0	48 26.7	107 59.4	37 20.6	53 29.4	67 37.2	47 26.1	42 23.3	2 1.1	1 0.6
50歳代	175 100.0	36 20.6	48 27.4	33 18.9	56 32.0	77 44.0	51 29.1	63 36.0	2 1.1	3 1.7
60歳代	276 100.0	65 23.6	51 18.5	72 26.1	85 30.8	123 44.6	52 18.8	110 39.9	- -	4 1.4
70歳以上	197 100.0	37 18.8	23 11.7	40 20.3	82 41.6	68 34.5	44 22.3	86 43.7	2 1.0	1 0.5
無回答	7 100.0	1 14.3	2 28.6	2 28.6	2 28.6	2 28.6	- -	2 28.6	- -	3 42.9

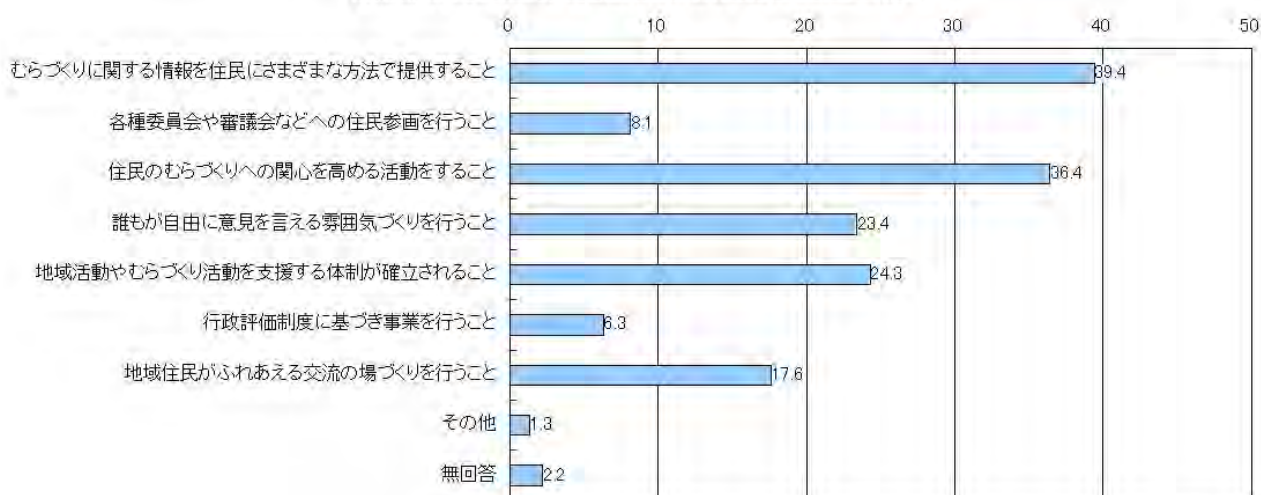
○20～40歳代で地域活動・学校行事、50～60歳代で日常生活の中で環境保全、70歳以上で身近な緑化と花づくり

年代により回答は多様に分かれています。20歳代では「スポーツや文化など、生涯学習活動に進んで参加すること」が最も高く、20歳代～40歳代では「地域活動や学校行事に参加、協力すること」、また、30歳代～60歳代で「日常生活の中で環境保全について努力すること」、さらに50歳代～70歳代以上では「身近な場所の緑化や花づくりに努めること」の割合が高くなっています。

問14 これから住民参加によるむらづくりの推進のために必要なことは何ですか？（該当するもの2つまで）

	回答数	割合(%)
むらづくりに関する情報を住民にさまざまな方法で提供すること	378	39.4
各種委員会や審議会などへの住民参画を行うこと	78	8.1
住民のむらづくりへの関心を高める活動をする	349	36.4
誰もが自由に意見を言える雰囲気づくりを行うこと	224	23.4
地域活動やむらづくり活動を支援する体制が確立されること	233	24.3
行政評価制度に基づき事業を行うこと	60	6.3
地域住民がふれあえる交流の場づくりを行うこと	169	17.6
その他	12	1.3
無回答	21	2.2
回答者総数(%ベース)	959	100

住民参加のむらづくりに必要なこと(総数959、2つまで複数回答、単位%)



○村づくりに関する住民への情報提供が必要

「むらづくりに関する情報を住民にさまざまな方法で提供すること」が39.4%(378人)と最も多く、次いで「住民のむらづくりへの関心を高める活動をする」36.4%(349人)、「地域活動やむらづくり活動を支援する体制が確立されること」24.3%(233人)、「誰もが自由に意見を言える雰囲気づくりを行うこと」23.4%(224人)などとなっています。逆に低いのが「行政評価制度に基づき事業を行うこと」6.3%(60人)、「各種委員会や審議会などへの住民参画を行うこと」8.1%(78人)などです。

男女別●住民参加の村づくりに必要なこと

上段:回答数 下段: %	合計	むらづくりに関する情報を住民にさまざまな方法で提供すること	各種委員会や審議会などへの住民参画を行うこと	住民のむらづくりへの関心を高める活動を行うこと	誰もが自由に意見を言える雰囲気づくりを行うこと	地域活動やむらづくり活動を支援する体制が確立されること	行政評価制度に基づき事業を行うこと	地域住民がふれあえる交流の場づくりを行うこと	その他	無回答
全体	959 100.0	378 39.4	78 8.1	349 36.4	224 23.4	233 24.3	60 6.3	169 17.6	12 1.3	21 2.2
男	460 100.0	183 39.8	43 9.3	158 34.3	109 23.7	121 26.3	35 7.6	65 14.1	7 1.5	7 1.5
女	495 100.0	193 39.0	34 6.9	190 38.4	114 23.0	112 22.6	25 5.1	104 21.0	5 1.0	13 2.6
無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	- -	- -	- -	- -	1 25.0

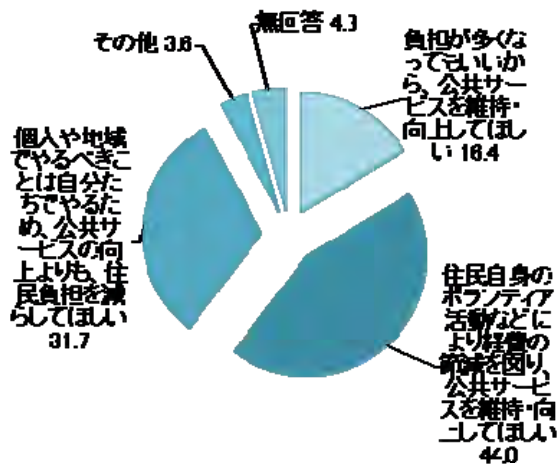
○委員会や審議会への参画、行政評価で女性の回答割合が特に低い

「むらづくりに関する情報を住民にさまざまな方法で提供すること」「住民のむらづくりへの関心を高める活動を行うこと」など上位の回答に男女で差異はありませんが、「各種委員会や審議会などへの住民参画を行うこと」「行政評価制度に基づき事業を行うこと」などでは、特に女性の回答割合が低くなっています。

問15 今後の公共サービスのあり方に関する考え方について（該当するもの1つ）

	回答数	割合(%)
負担が多くなっていいから、公共サービスを維持・向上してほしい	157	16.4
住民自身のボランティア活動などにより経費の節減を図り、公共サービスを維持・向上してほしい	422	44.0
個人や地域でやるべきことは自分たちでやるため、公共サービスの向上よりも、住民負担を減らしてほしい	304	31.7
その他	35	3.6
無回答	41	4.3
回答者総数(%ベース)	959	100

公共サービスの在り方(総数959, 単位%)



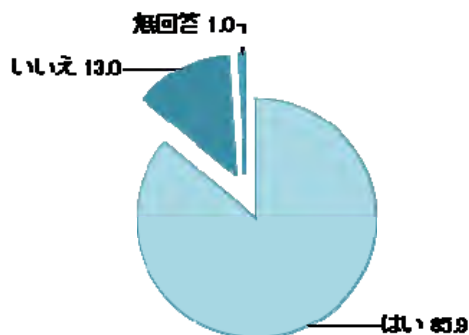
○経費節減で公共サービスの維持・向上を

「住民自身のボランティア活動などにより経費の節減を図り、公共サービスを維持・向上してほしい」が44.0%(422人)と最も多く、次いで、「個人や地域でやるべきことは自分たちでやるため、公共サービスの向上よりも、住民負担を減らしてほしい」31.7%(304人)、「負担が多くなっていいから、公共サービスを維持・向上してほしい」16.4%(157人)となっています。

問16 行政区に加入していますか？

	回答数	割合(%)
はい	824	85.9
いいえ	125	13.0
無回答	10	1.0
回答者総数(%ベース)	959	100

行政区への加入状況(総数959, 単位%)

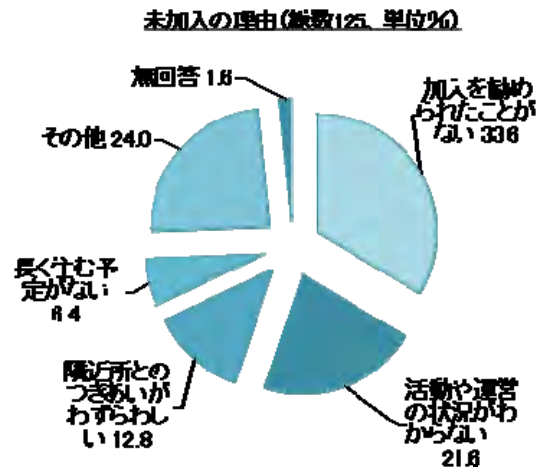


○約86%が行政区に加入

「はい」が85.9%(824人)、「いいえ」が13.0%(125人)となっています。

問17 前問で「いいえ」と回答した方に伺います。加入していない理由は何ですか？（該当するもの1つ）

	回答数	割合(%)
加入を勧められたことがない	42	33.6
活動や運営の状況がわからない	27	21.6
隣近所とのつきあいがわずらわしい	16	12.8
長く住む予定がない	8	6.4
その他	30	24.0
無回答	2	1.6
回答者総数(%ベース)	125	100



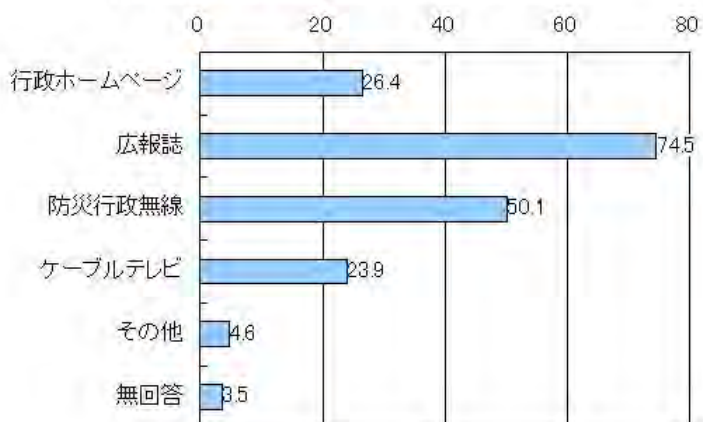
○3人に1人が加入を勧められたことがない

「加入を勧められたことがない」が33.6%(42人)と最も高くなっています。

問18 村からの行政情報は、普段どんな方法で入手していますか？（該当するもの全て）

	回答数	割合(%)
行政ホームページ	253	26.4
広報誌	714	74.5
防災行政無線	480	50.1
ケーブルテレビ	229	23.9
その他	44	4.6
無回答	34	3.5
回答者総数(%ベース)	959	100

行政情報の入手方法(総数959、複数回答、単位%)



○広報誌が約75%

「広報誌」が74.5%(714人)と最も多く、次いで「防災行政無線」50.1%(480人)、「行政ホームページ」26.4%(253人)などとなっています。

年代別●行政情報の入手方法

上段:回答数 下段: %	合計	行政 ホームページ	広報誌	防災 行政無線	ケーブル テレビ	その他	無回答
全体	959 100.0	253 26.4	714 74.5	480 50.1	229 23.9	44 4.6	34 3.5
10歳代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	23 51.1	23 51.1	20 44.4	8 17.8	1 2.2	2 4.4
30歳代	77 100.0	37 48.1	51 66.2	31 40.3	20 26.0	1 1.3	3 3.9
40歳代	180 100.0	63 35.0	127 70.6	88 48.9	43 23.9	13 7.2	6 3.3
50歳代	175 100.0	46 26.3	143 81.7	83 47.4	37 21.1	6 3.4	4 2.3
60歳代	276 100.0	59 21.4	223 80.8	147 53.3	73 26.4	15 5.4	4 1.4
70歳以上	197 100.0	23 11.7	143 72.6	106 53.8	46 23.4	8 4.1	13 6.6
無回答	7 100.0	1 14.3	3 42.9	4 57.1	2 28.6	- -	2 28.6

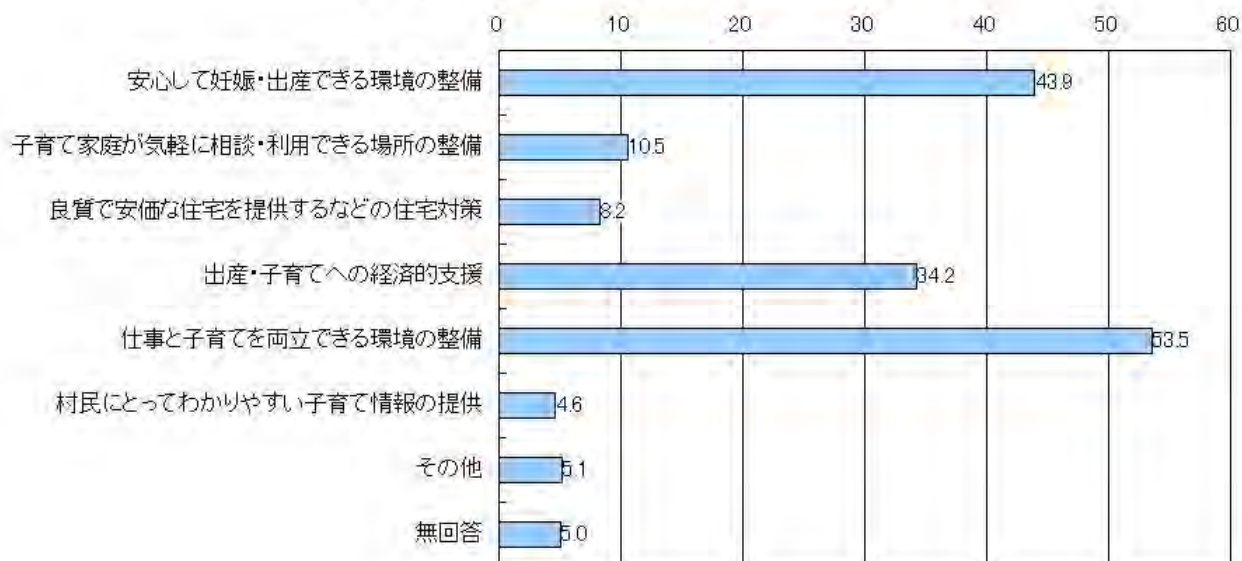
○10～30歳代では広報誌の割合が下がり、その分ホームページの割合が高くなる

いずれの年代も「広報誌」の割合が高くなっています。40歳代以上で特にその割合が高く、これに「防災行政無線」が次いでいます。10～30歳代では「広報誌」の割合がやや下がり、その分「行政ホームページ」が高くなっています。

問19 全国的に少子化が問題となっていますが、少子化対策として最も有効と思われるものは何ですか？（該当するもの2つまで）

	回答数	割合(%)
安心して妊娠・出産できる環境の整備	421	43.9
子育てが家庭が気軽に相談・利用できる場所の整備	101	10.5
良質で安価な住宅を提供するなどの住宅対策	79	8.2
出産・子育てへの経済的支援	328	34.2
仕事と子育てを両立できる環境の整備	513	53.5
村民にとってわかりやすい子育て情報の提供	44	4.6
その他	49	5.1
無回答	48	5.0
回答者総数(%ベース)	959	100

有効な少子化対策(総数959、2つまで複数回答、単位%)



○仕事と子育ての両立が過半数

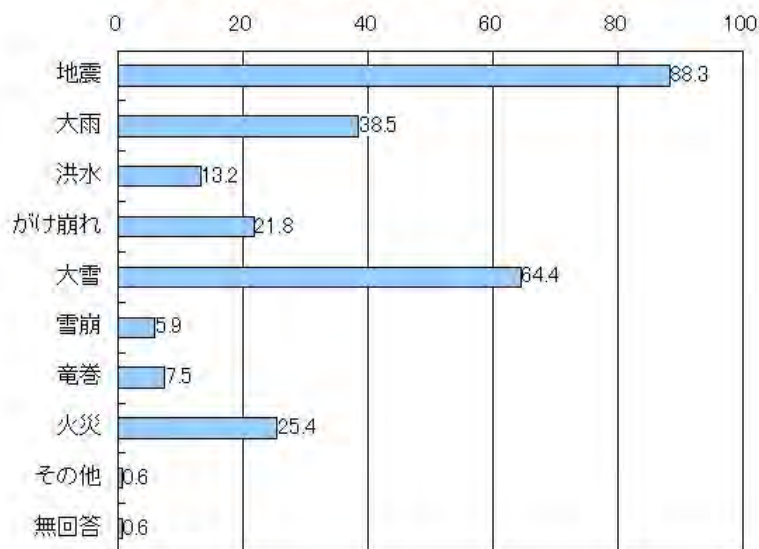
「仕事と子育てを両立できる環境の整備」が53.5%(513人)と最も多く、次いで、「安心して妊娠・出産できる環境の整備」43.9%(421人)、「出産・子育てへの経済的支援」34.2%(328人)などとなっています。

V 防災対策について

問20 どのような災害が心配だと思いますか？（該当するもの3つまで）

	回答数	割合(%)
地震	847	88.3
大雨	369	38.5
洪水	127	13.2
がけ崩れ	209	21.8
大雪	618	64.4
雪崩	57	5.9
竜巻	72	7.5
火災	244	25.4
その他	6	0.6
無回答	6	0.6
回答者総数(%ベース)	959	100

心配される災害(総数959、3つまで複数回答、単位%)



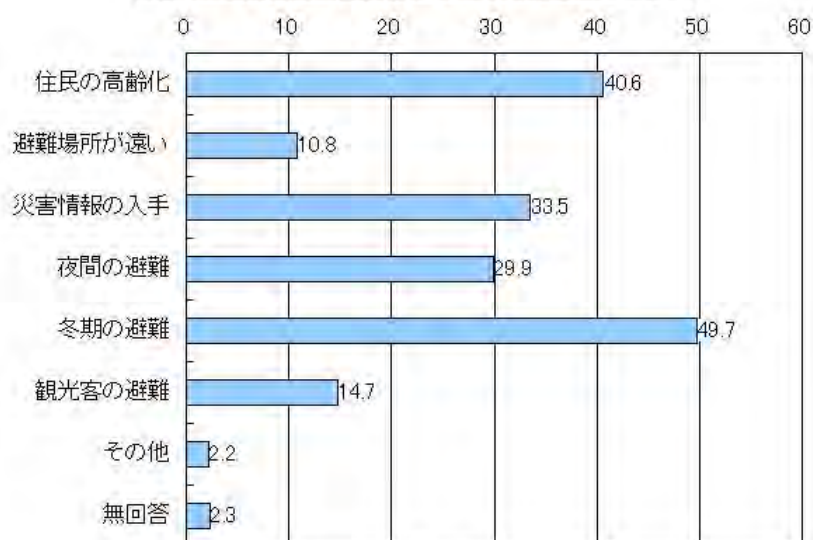
〇9割近く、地震が心配

「地震」が88.3%(847人)と圧倒的に多く、次いで「大雪」64.4%(618人)、「大雨」38.5%(369人)などとなっています。

問21 災害時に心配なことは何ですか？（該当するもの2つまで）

	回答数	割合(%)
住民の高齢化	389	40.6
避難場所が遠い	104	10.8
災害情報の入手	321	33.5
夜間の避難	287	29.9
冬期の避難	477	49.7
観光客の避難	141	14.7
その他	21	2.2
無回答	22	2.3
回答者総数(%ベース)	959	100

災害時に心配なこと(総数959、2つまで複数回答、単位%)



○半数が冬期の避難を心配

「冬期の避難」が49.7%(477人)と最も多く、次いで、「住民の高齢化」40.6%(389人)、「災害情報の入手」33.5%(321人)などとなっています。

年代別●災害時に心配されること

上段:回答数 下段: %	合計	住民の 高齢化	避難場所 が遠い	災害情報 の入手	夜間の 避難	冬期の 避難	観光客の 避難	その他	無回答
全体	959 100.0	389 40.6	104 10.8	321 33.5	287 29.9	477 49.7	141 14.7	21 2.2	22 2.3
10歳代	2 100.0	1 50.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	45 100.0	15 33.3	4 8.9	21 46.7	12 26.7	19 42.2	9 20.0	- -	- -
30歳代	77 100.0	24 31.2	7 9.1	28 36.4	26 33.8	41 53.2	6 7.8	4 5.2	2 2.6
40歳代	180 100.0	51 28.3	16 8.9	67 37.2	44 24.4	108 60.0	35 19.4	5 2.8	5 2.8
50歳代	175 100.0	60 34.3	16 9.1	69 39.4	57 32.6	91 52.0	34 19.4	4 2.3	5 2.9
60歳代	276 100.0	127 46.0	31 11.2	90 32.6	92 33.3	132 47.8	31 11.2	6 2.2	5 1.8
70歳以上	197 100.0	109 55.3	30 15.2	45 22.8	53 26.9	84 42.6	23 11.7	2 1.0	3 1.5
無回答	7 100.0	2 28.6	- -	- -	2 28.6	2 28.6	3 42.9	- -	2 28.6

○60歳代以上で約半数が住民の高齢化を心配

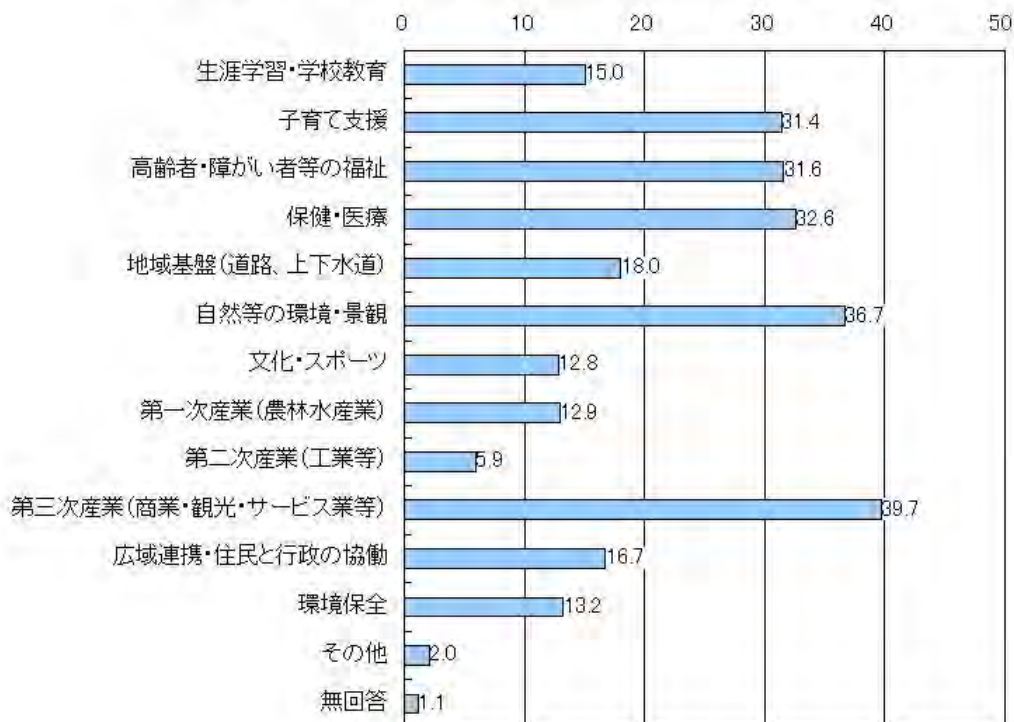
「冬期の避難」と「災害情報の入手」を心配する割合がいずれの年代でも高くなっていますが、60歳代以上では「住民の高齢化」を心配する回答が多く、また、20歳代以下では「災害情報の入手」を心配する回答が多くなっています。

VI 戦略的なまちづくりについて

問22 これからの時代、地域自らが、地域の将来を考え、実行していくことの重要性が高まっています。まちづくりにはさまざまな分野がありますが、あなたは、白馬村が今後、より一層活性化したり、いきいきとしていくためには、どんな分野に力を入れていくことが必要だと思いますか？（該当するもの3つまで）

	回答数	割合(%)
生涯学習・学校教育	144	15.0
子育て支援	301	31.4
高齢者・障がい者等の福祉	303	31.6
保健・医療	313	32.6
地域基盤(道路、上下水道)	173	18.0
自然等の環境・景観	352	36.7
文化・スポーツ	123	12.8
第一次産業(農林水産業)	124	12.9
第二次産業(工業等)	57	5.9
第三次産業(商業・観光・サービス業等)	381	39.7
広域連携・住民と行政の協働	160	16.7
環境保全	127	13.2
その他	19	2.0
無回答	11	1.1
回答者総数(%ベース)	959	100

今後、村が力を入れてゆべき分野(総数959、3つまで複数回答、単位%)



年代別●これから力を入れてゆくべき分野

上段:回答数 下段: %	合計	生涯学習・ 学校教育	子育て支 援	高齢者・障 がい者等 の福祉	保健・医療	地域基盤 (道路、上 下水道)	自然等の 環境・景観	文化・スポ ーツ
全体	959 100.0	144 15.0	301 31.4	303 31.6	313 32.6	173 18.0	352 36.7	123 12.8
10歳代	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	1 50.0
20歳代	45 100.0	5 11.1	17 37.8	6 13.3	13 28.9	14 31.1	18 40.0	8 17.8
30歳代	77 100.0	11 14.3	41 53.2	13 16.9	25 32.5	17 22.1	21 27.3	15 19.5
40歳代	180 100.0	43 23.9	72 40.0	37 20.6	56 31.1	27 15.0	74 41.1	35 19.4
50歳代	175 100.0	22 12.6	45 25.7	42 24.0	64 36.6	35 20.0	64 36.6	32 18.3
60歳代	276 100.0	31 11.2	77 27.9	126 45.7	95 34.4	45 16.3	107 38.8	23 8.3
70歳以上	197 100.0	31 15.7	47 23.9	77 39.1	59 29.9	34 17.3	67 34.0	9 4.6
無回答	7 100.0	- -	1 14.3	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3	- -

上段:回答数 下段: %	第一次産 業(農林水 産業)	第二次産 業(工業 等)	第三次産 業(商業・ 観光・サー ビス業等)	広域連携・ 住民と行政 の協働	環境保全	その他	無回答
全体	124 12.9	57 5.9	381 39.7	160 16.7	127 13.2	19 2.0	11 1.1
10歳代	- -	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -
20歳代	5 11.1	1 2.2	21 46.7	8 17.8	4 8.9	1 2.2	- -
30歳代	11 14.3	2 2.6	38 49.4	6 7.8	10 13.0	2 2.6	- -
40歳代	18 10.0	11 6.1	86 47.8	17 9.4	21 11.7	7 3.9	- -
50歳代	27 15.4	9 5.1	79 45.1	26 14.9	29 16.6	3 1.7	3 1.7
60歳代	35 12.7	19 6.9	90 32.6	58 21.0	39 14.1	3 1.1	1 0.4
70歳以上	27 13.7	15 7.6	65 33.0	45 22.8	24 12.2	3 1.5	3 1.5
無回答	1 14.3	- -	1 14.3	- -	- -	- -	4 57.1

○第三次産業(商業・観光・サービス業等)の振興を(前前ページ)

「第三次産業」が39.7%(381人)と最も多く、次いで、「自然等の環境・景観」36.7%(352人)、以下、僅差で「保健・医療」「高齢者・障がい者等の福祉」「子育て支援」が続いています。

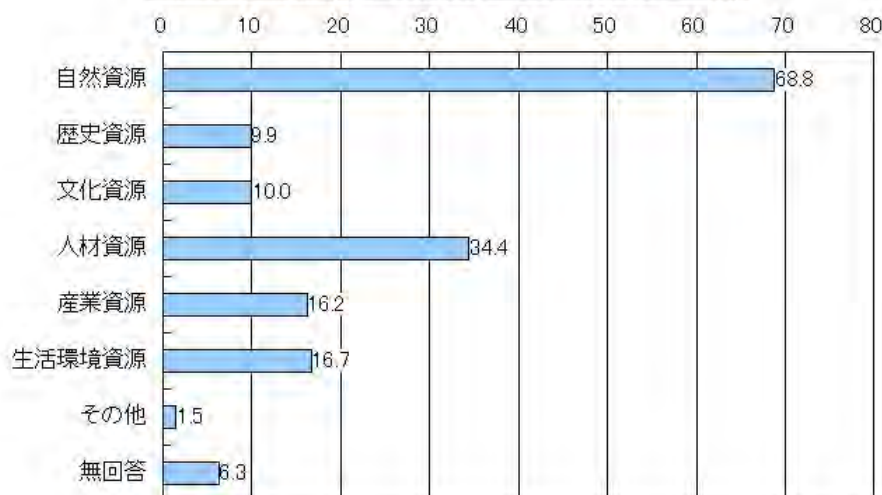
○30歳代では「子育て支援」、60歳代～70歳以上では「高齢者・障がい者等の福祉」(前ページ)

年代別に見ると、「第三次産業」は20歳代～50歳代で高くなっています。これに対し、30歳代では「子育て支援」、60歳代～70歳以上では「高齢者・障がい者等の福祉」がそれぞれ高く、また、「自然等の環境・景観」はほぼ全年代を通じて高くなっています。

問23 白馬村ならではの地域づくりを進めていくため、有効活用すべき地域資源、埋もれている要素などがありますか？(該当するもの2つまで)

	回答数	割合(%)
自然資源	660	68.8
歴史資源	95	9.9
文化資源	96	10.0
人材資源	330	34.4
産業資源	155	16.2
生活環境資源	160	16.7
その他	14	1.5
無回答	60	6.3
回答者総数(%ベース)	959	100

有効活用すべき地域資源(総数959、2つまで複数回答、単位%)



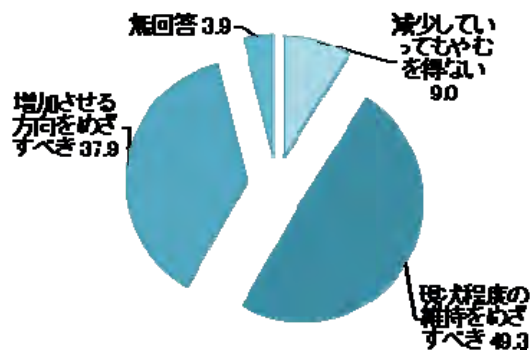
○圧倒的に自然資源

「自然資源」が68.8%(660人)と圧倒的に高く、次いで「人材資源」34.4%(330人)などとなっています。

問24 あなたは、白馬村の人口規模が将来、どのようになるのが望ましいと思いますか？（該当するもの1つ）

	回答数	割合(%)
減少していてもやむを得ない	86	9.0
現状程度の維持をめざすべき	473	49.3
増加させる方向をめざすべき	363	37.9
無回答	37	3.9
回答者総数(%ベース)	959	100

望ましい人口規模(総数959 単位%)



○約半数が現状維持

「現状程度の維持をめざすべき」が49.3%(473人)と約半数、次いで、「増加させる方向をめざすべき」37.9%(363人)となっています。

年代別●望ましい将来人口

上段:回答数 下段: %	合計	減少していてもやむを得ない	現状程度の維持をめざすべき	増加させる方向をめざすべき	無回答
全体	959 100.0	86 9.0	473 49.3	363 37.9	37 3.9
10歳代	2 100.0	2 100.0	-	-	-
20歳代	45 100.0	6 13.3	23 51.1	15 33.3	1 2.2
30歳代	77 100.0	14 18.2	37 48.1	24 31.2	2 2.6
40歳代	180 100.0	11 6.1	106 58.9	57 31.7	6 3.3
50歳代	175 100.0	17 9.7	92 52.6	60 34.3	6 3.4
60歳代	276 100.0	18 6.5	136 49.3	115 41.7	7 2.5
70歳以上	197 100.0	17 8.6	78 39.6	90 45.7	12 6.1
無回答	7 100.0	1 14.3	1 14.3	2 28.6	3 42.9

○70歳以上は増加、10歳代は減少やむなし

20歳代～60歳代まで「現状程度の維持をめざすべき」がほぼ半数を占めているが、70歳以上では「増加させる方向をめざすべき」、逆に10歳代では「減少していてもやむを得ない」が多数を占めています。

【記述回答】

各設問「その他」の記述内容

(／以下は、記入者の性別／年代／職業)

●問11 あなたが望む将来の白馬村は、どのような村ですか？

- 積極的な、観光産業へのバックアップ。／男／50歳代／自営業
- 若い人の働く所がない。／男／50歳代／自営業
- 観光立村／女／30歳代／会社員
- 仕事のある村／男／70歳以上／自営業
- 自由と活力があり、若者にとって魅力ある村。／女／50歳代／その他
- 年間を通して安定した観光客の集客。／女／50歳代／主婦
- 景観が最高に良いのに、住む人の心が貧しい。／女／60歳代／その他
- 白馬の自然を活かす地域作り。／男／30歳代／会社員
- 村の職員も住民も共通の認識で、白馬に自信が持てる村。／男／60歳代／その他
- 外国人、異なる出身地…等の人が集う特殊なコミュニティ。／男／60歳代／自営業
- 増加している外国人(住民としても)も参加してもらう村づくりが重要。／女／60歳代／自営業
- 若者が働く場所作り。企業とか会社など。／女／70歳以上／その他
- 白馬村で育った子供達が成長した時、仕事や働く場があり、安心して生活していける環境が必要。／女／40歳代／主婦
- 観光地としての自覚、各地区、同業者同士の連携、まとまりが必要。／女／40歳代／会社員
- よそ者、旅の衆、地元等、差別のない村。／女／40歳代／主婦
- 差別のない村／女／40歳代／自営業
- 国民の義務である税金をきちんと徴収できる村。／女／40歳代／主婦
- 若者が定住できる村に。／女／60歳代／自営業
- のどかなのんびりとした村。／女／60歳代／主婦
- 白馬村として出来る、一つ以上の産業のある充実出来る村。／男／70歳以上／自営業
- 村税滞納者のいない村。／男／30歳代／公務員
- 外国人(特にオーストラリア人)との共存について、もっと真剣に(通訳等)考えて欲しい。／男／40歳代／公務員
- スキー産業に力を入れ、国内外の観光客を受け入れる村。／男／40歳代／自営業
- 若い人が定住できるような、安定した職の提供。／女／20歳代／公務員

- 学力の高い競争力を持つ人材を保有できる村。／女／40歳代／主婦
- 軽井沢ISAKの様なインターナショナルスクールと、観光以外の雇用の充実が必要。／男／30歳代／会社員

●問13 住みよいむらづくりを進めていくために、あなたが協力できることは何ですか？

- 住民間格差の是正。／男／50歳代／自営業
- 里山の開放／男／50歳代／自営業
- 地域のイベント、ワークショップ等があれば参加したい。／女／20歳代／主婦
- 上から目線の質問で意味不明。／女／30歳代／会社員
- 近所で助け合わないと、この先住めない。／女／40歳代／会社員
- 有能人材の発掘とネットワーク。／男／70歳以上／自営業
- 白馬住人としての自覚。／男／30歳代／会社員
- 村政に口を挟まず、職員を信頼して任せる。／男／30歳代／公務員
- 学習支援、家庭相談。／女／40歳代／主婦

●問14 これから住民参加によるむらづくりの推進のために必要なことは何ですか？

- 村外からの移住者を認める事。／男／40歳代／会社員
- 小さな村なのに、委員会が多すぎる。／女／30歳代／会社員
- 地元出身者は、移住者も村民であることを尊んで欲しい。／女／50歳代／その他
- 義務化しても良いと思う。／男／30歳代／自営業
- 気持ち／男／30歳代／会社員
- 住民参加による住民のための村づくり。／男／30歳代／自営業
- 色々多すぎると、まとまらない。／男／60歳代／会社員
- 住民の大人化、村民が子供すぎる。／女／40歳代／主婦
- 外国人(特にオーストラリア人)共存対策。／男／40歳代／公務員
- 強いリーダーシップ／男／30歳代／会社員

●問15 今後の公共サービスのあり方に関する考え方について

- 経費の節減は当然。収入の安定化を図り、過度な村民負担を少なくして欲しい。／男／40歳代／会社員
- 区の運用も含め、行政と地区のあり方を再検討し適正化する。／男／40歳代／会社員
- 負担を減らす。受益者負担でまかない、公共サービスは最低限で良い。／男／50歳代／会社員
- 無駄を減らし、役場特有体質から脱却し充実して欲しい。／男／50歳代／自営業
- 公共サービスとボランティアの関係性についての意義がお

- かしい。／女／30歳代／会社員
 - 我々ミドルエイジには、現在どのような公共サービスを受けているか正直分からないので、答えられない。／女／40歳代／自営業
 - 時間に余裕があり、元気な高齢者の活用。／女／60歳代／その他
 - ゴミの分別等、住民として行わねばならない事を明確に。／男／70歳以上／その他
 - 区に入らない人(別荘、外人の負担)。／女／50歳代／自営業
 - 公共サービスという考え方から改めた方が良い。／女／50歳代／会社員
 - 公共サービスの在り方、提供の仕方(負担に見合った)をもっと検討した方が良い。／女／60歳代／主婦
 - 負担、サービス(維持のみ)。／女／60歳代／主婦
 - 役場職員がボランティアで仕事をやるべき。／男／60歳代／自営業
 - 公共サービスが具体的にわからない。／男／30歳代／自営業
 - 維持向上＝負担増でなく、前例を見直して維持向上。／男／60歳代／その他
 - 役場職員の効率化を図る。／女／70歳以上／-
 - 職員の給料など見直し。負担が多い割に、公共サービスの対応が悪い。／男／40歳代／会社員
 - 公共サービスの内容がわからない。／女／40歳代／会社員
 - 住民による活動が多く、公共サービスを把握できていない。／女／40歳代／その他
 - 一方的な形を考えず応用できる中の、ある方針で願いたい。／女／40歳代／自営業
 - 住民のニーズを把握し、それに合った公共サービスの見直し。／女／40歳代／主婦
 - 選択と集中によるムダの排除。／男／30歳代／会社員
 - 村は、住民の唯一の公共の場であるので、役場の当直体制を充実して欲しい。／男／40歳代／公務員
 - 公共サービスとは何を言うのか良くわからない。何をサービスしてくれているか、はっきりわかるようにして頂きたい。／男／40歳代／会社員
- 問17 前問で「いいえ」と回答した方に伺います。加入していない理由は何ですか？
- メリットが無い／男／50歳代／会社員
 - 管理会社有り／男／60歳代／自営業
 - 子供が大きくなれば加入したい。／女／30歳代／公務員
 - 借家のため、準会員のため参加しなくてよい。／女／30歳代／会社員
 - 現居住区は新しい人の集まりで、別荘もあり形態が複雑。行政区の会費が高い。／男／70歳以上／その他
 - 小さな村であるため、行政がしっかりすれば行政区は不要。／男／70歳以上／その他

- 区より加入を断られた。／男／70歳以上／その他
 - 区の会計報告もなしで、会費だけ納めろと言って来た。／男／70歳以上／その他
 - 一度は加入したが、よそ者扱いなので意味がない。／女／50歳代／その他
 - 推進中／女／60歳代／主婦
 - 以前加入していたが、区の運営、活動内容に疑問を抱いた為、脱退した。／男／60歳代／会社員
 - 若い人に渡したので、自分が入っていない。／女／70歳以上／自営業
 - 名鉄に管理費を支払っているから。／男／40歳代／会社員
 - 複数の地域に居住しているため。／女／40歳代／自営業
 - 無い／女／40歳代／自営業
 - 仕事があり、活動に参加する事が難しい。／女／40歳代／主婦
 - 住み込みの仕事をしている為不在が多い。／女／40歳代／会社員
 - 入るのが当たり前と思っていたが、入れてもらえなかった。／女／40歳代／自営業
 - 他の地区に入っている。／女／60歳代／主婦
 - 仕事が忙しく、家にほとんどいない。／男／40歳代／自営業
 - 近々加入するつもりでいるが、ゴミ等の問題がネックになっている。／男／40歳代／会社員
 - 入り方がわからない。／男／20歳代／会社員
 - アパート変えたい。定住地を選定中。／男／20歳代／公務員
- 問18 村からの行政情報は、普段どんな方法で入手しますか？
- 管理会社有り／男／60歳代／自営業
 - 新聞の折り込み／男／60歳代／その他
 - 配布物／男／60歳代／公務員
 - 議会人／男／70歳以上／自営業
 - 入手した事がない／女／70歳以上／主婦
 - 時に人づてで。／女／70歳以上／主婦
 - 個別配布／男／70歳以上／自営業
 - 議会だより／男／70歳以上／その他
 - 回覧等／女／50歳代／その他
 - ホームページ／女／50歳代／主婦
 - 友人からの話。／女／50歳代／その他
 - 区からの回覧板等。／女／60歳代／主婦
 - 特に情報が届かない。／女／60歳代／その他
 - 知人より／男／70歳以上／その他
 - 会報／男／60歳代／自営業
 - 老朽化した防災無線をアップデートすべきだと思う。／男／30歳代／自営業
 - 新聞、及び折り込み。／男／60歳代／その他
 - 区の配布物等。／男／60歳代／その他

- 新聞／男／60歳代／自営業
- 友人から／女／40歳代／主婦
- 行政無線は聞こえてこない。／女／40歳代／その他
- 友人に聞く／女／40歳代／自営業
- 仕事先で噂話として聞く程度。／女／40歳代／主婦
- 何もない。広報誌も公民館へ自分で取りに行かないと見られない。／女／40歳代／自営業
- 口づて／女／40歳代／会社員
- 村民ホール掲示物。／男／40歳代／公務員
- 地区選出村会議員さんからの情報。／男／40歳代／自営業
- 新聞など／男／40歳代／公務員
- 入手していない。必要としていない。／男／60歳代／農業

●問19 全国的に少子化が問題となっていますが、少子化対策として最も有効と思われるものは何ですか？

- 収入が安定して得られる事。／男／40歳代／会社員
- 自覚の出来る「親」の育成。／男／50歳代／自営業
- 安定した職場確保／男／50歳代／会社員
- 但し人口が増えれば良いというものでもない。／男／50歳代／自営業
- 雇用(国際観光課なんて作っても働き口がなきゃ、生徒が来なくなる)。／男／50歳代／会社員
- 年間を通じて、若い人が働ける職場。／男／60歳代／その他
- 高齢者のボランティア利用／男／60歳代／その他
- カップル出会い、成立の場の提供、催し。／男／70歳以上／農業
- 若者の就職先の確保→定住→結婚→出産となるといいなと思います。／女／20歳代／その他
- 給料の引き上げ／女／30歳代／会社員
- 子育て世代や若者の経済的基盤の確立が必要。／男／70歳以上／その他
- 暇のある高齢者のボランティア活動。／女／60歳代／その他
- 若者が働く場所がある事。／女／60歳代／農業
- 国の施策が悪い。／女／70歳以上／農業
- 村内職場が出来、若い人が村に残れる体制。／男／70歳以上／自営業
- 未婚者が多すぎる。／男／70歳以上／農業
- 産業を育て、働く場の確保による若者増をはかる事。／男／70歳以上／自営業
- 高校までの授業料の無料化。／女／50歳代／会社員
- 出会い(若者同士)／女／50歳代／自営業
- 未婚者を減らす／女／50歳代／その他
- 有効なものは一つではないと思う。／女／50歳代／その他
- 地域や社会の当たり前の手助け。／女／50歳代／その他
- 村政だけ社会主義化すれば良い。／男／30歳代／自営業
- 特色のある独自の制度。／男／30歳代／会社員
- 若いカップルの定住を促す取り組み。／男／60歳代／自

- 営業
- 出産世代への所得の口分配と意識改革。／男／60歳代／その他
- 村に仕事が無い。良い人がいても、村人が村にいられない。／女／70歳以上／その他
- 婚活支援を徹底的に行う。／-/-/-
- 義務教育後の経済支援。／女／40歳代／主婦
- 子育て支援は充実していると思うし、この村は少子化とは思えない。子だくさんの人が多い。／女／40歳代／会社員
- 親の介護の軽減。／女／40歳代／主婦
- 税金などお金がかかりすぎるので、負担減を望む。／女／40歳代／自営業
- 一夫多妻制／女／40歳代／会社員
- 父親の仕事の充実。／女／50歳代／その他
- 働く場所が無し。／女／60歳代／主婦
- 職が無いので出て行ってしまっているので、白馬では流出を防ぎ、村内の結婚を増やす。／女／60歳代／自営業
- 少子化問題は村が背負うものか？疑問。／女／60歳代／主婦
- 社会に通用する能力を身につけられる学校教育。／男／40歳代／自営業
- 若者の流入施策。／男／40歳代／公務員
- 安定した雇用／男／40歳代／会社員
- 積極的な児童支援。／男／40歳代／会社員
- 子供を育てやすい環境、施設作り。公園、インターナショナルスクール。／男／30歳代／会社員
- 雇用対策／男／40歳代／公務員

●問20 どのような災害が心配だと思いますか？

- 土砂災害／男／50歳代／会社員
- 大風(春頃の)／女／50歳代／公務員
- すべて／女／50歳代／会社員
- 林地開発に伴う地造り。／男／60歳代／会社員
- 突風／女／40歳代／自営業
- 強風／女／60歳代／主婦

●問21 災害時に心配なことは何ですか

- 罹災後の生活の立て直し。／男／50歳代／自営業
- 携帯電話の繋がる事(電気、水道も)。／男／50歳代／自営業
- どういう行動を取ったら良いか分からない。／男／60歳代／主婦
- 避難場所が災害にあってしまう可能性がある。／女／30歳代／自営業
- 寒さ対策／女／30歳代／会社員
- 安全な避難場所の確保。／男／70歳以上／自営業
- 近くの避難場所を知らない。／女／50歳代／自営業
- 避難場所の安全性？心配。／女／60歳代／主婦
- 避難場所が屋外である事。／男／60歳代／自営業

- 避難場所の環境／男／30歳代／自営業
- 住民の把握と安否確認。／男／60歳代／その他
- 避難場所を知らない。／女／40歳代／主婦
- 災害に備え、道を造って欲しい、道を広くして欲しい(わらび平坂)。／女／40歳代／主婦
- 避難場所がない。／女／40歳代／主婦
- 安全な避難場所が不明。／女／60歳代／主婦
- 別荘地は隣に住民がいないので助け合いが出来ない事。／女／60歳代／主婦
- 男性がいない世帯への対応。／男／40歳代／公務員
- 防災放送が聞こえない。／女／50歳代／その他
- 災害後、被害にあった村民への対応、支援内容等。／男／30歳代／会社員
- ペットの避難／女／40歳代／会社員

●問22 これからの時代、地域自らが、地域の将来を考え、実行していくことの重要性が高まっています。まちづくりにはさまざまな分野がありますが、あなたは、白馬村が今後、より一層活性化したり、いきいきとしていくためには、どんな分野に力を入れていくことが必要だと思いますか？

- 若年層定住の為の、住宅、雇用対策。／男／40歳代／会社員
- 6に書いたが、手を加えすぎない事。不便さがあっても良い。／男／50歳代／自営業
- 第六次産業／男／50歳代／自営業
- 今の学生が白馬で働きたいと思う事。若い人の参加が大切!!!／男／60歳代／その他
- 観光産業／男／70歳以上／自営業
- 第6次産業の発想、工夫。／男／70歳以上／農業
- 高速道路／女／20歳代／会社員
- 仕事(若い人が働ける)の確保。消滅自治体にならないために。／女／50歳代／会社員
- 高速道等インフラ整備。／男／30歳代／自営業
- 里山の景観保全と観光業をセットで推進すべきでしょう。／男／30歳代／自営業
- 若者が定住できるよう、就労場所。全宅地の整備。／女／40歳代／自営業
- 「人」を作らなければ…知恵のないものが集まって考えても何も変わらない。／女／40歳代／主婦
- その気にさせる手段が必要。／女／40歳代／自営業
- 意識改革／女／40歳代／主婦
- 外国人観光客の取り組みについて。／女／60歳代／主婦
- 第六次産業／女／60歳代／自営業
- 産業の6次化／男／40歳代／公務員
- 雇用対策／男／40歳代／公務員

●問23 白馬村ならではの地域づくりを進めていくため、有効活用すべき地域資源、埋もれている要素などはありますか？

- 白馬高校／男／50歳代／自営業
- 森林資源／男／50歳代／自営業
- 大雪原への車の乗り込みを実現。／男／60歳代／その他
- 転入者の尽力、貢献活躍要望。／男／70歳以上／農業
- 分からない／女／30歳代／主婦
- 農産物加工／男／70歳以上／その他
- 山林、川、水路を使った地産エネルギーの創設。／男／60歳代／自営業
- 豊富な雪の利用。／男／60歳代／会社員
- 温泉資源／女／40歳代／会社員
- 人づくり／女／40歳代／自営業
- 独自性は不要。／男／30歳代／公務員
- 使っていない土地。／男／20歳代／会社員

●問25 最後に、あなたが白馬村に対して希望することやアイデア、または、ご意見等がありましたら、別紙回答欄にご記入ください。

【経済】

- 自然があり空気が良いが、住むという事に、さほどメリットが無い。村なのに家賃とかが高い…。住人であるから…の特典などが無い。／男／50歳代／会社員
- 色々な状況下にあって、苦しい生活をしている人々もいるわけですので、決して差別化しないで、でき得る限りの支援をしていく様な融通性というか、大きな心というか、もっと目を向けていき、何とか活路を見出せる方向性を示していきけるような人材発掘も含め、埋もれている人を発見して欲しい。／男／50歳代／自営業
- 廃屋の撤去(環境に悪いので！側に別荘があったが雨漏りしたりして来なくなり、先の地震により完全に倒れた)。／男／70歳以上／農業
- 下水道問題は税の(公共料金)不公平さを残した。税の不公平を無くさなければ、住民の協力は得られない。水道、固定資産税しかり、全く改善が見られないのであれば、村民は自己保全に走るよ!!／男／70歳以上／その他
- 財政の細かいところは分からないが、方向性として福祉の面では、老人よりも子供の為により税金を使うべきだと思う。村づくり事業のどの分野においても、スピードが大切。適材適所。タイミングを逃したらせっかくの企画も台無しになります。／女／40歳代／自営業
- 白馬村の持つ自然環境、景観を守り、次世代に引き継ぐために、また、高齢化社会を支えるために収益が必要となる。収益の根幹を観光業とし、観光特区として人材を集中させ、戦略を立て営業広報活動をする必要があると思います。優先順位は、一番初めに産業の活性化があり、民間との協働にて収益を上げる。そこから景観整備、住民サービス、住宅、医療に広げる事が重要だと思います。活発な産業のある所に人は集まるので、まずは活性化を優先する必要があります。／女／50歳代／その他
- 交通の面で高速道路、新幹線と伸びてきている中、白馬

は取り残されているように思う。又、村内を大型トラックが抜け道として利用している事もあり、特に交通網の整備が必要だと思う。・ふるさと納税の利用をもっとした方が良いと思う。宿泊、リフト券など、白馬に来てもらい宿泊、スキーなど地元でお金を使ってもらう事が重要だと思う。／女／50歳代／その他

○ひとり親に対する医療費。小谷村などは、子供が18歳以上になっても、親は引き続き補助など有りとのこと。経済的に大変な事などを、もう少し確認して欲しい。企業などもそういう人を、優先的に雇うなどの配慮をして欲しい。普通の人の想像以上に苦勞があります。小さい子供の補助より、そちらの方が先ではないでしょうか。／女／50歳代／その他

○少子化問題として、白馬村だけでも保育料の軽減や児童手当など様々な取り組みが行われているが、子供を育てる上で一番お金がかかるのは幼時期ではなく、大学などその後(幼時期を過ぎた)のこと。税金ばかりが負担となる。お金がないから子供を産まないのではないと思う。自分達の生活を贅沢したい所にあると思う。子供を持つ意識を変える方が大切。／女／50歳代／その他

○検診は無料にすべきです。／女／60歳代／主婦

○この村が好きで、好きではない人が何人いるでしょう？・村民一人一人の所得はいくらなのでしょう？・食物文化は？・地場産は豊かでしょう？・村に骨を埋める気は無いです。／女／60歳代／その他

○村が良くなると個人も良くなると思っていますが、我が家は家のローンを払いながら、今が精一杯で先の事まで考える余裕がありません。但し、家族に迷惑をかけないで、長く介護されないで死にたいと思っています。・ふるさと納税のニュースを見て、他の市町村はいいなと思いました。白馬村も村長さんを先頭に、もっとアイデアを出して村民を先導して行って下さい。／女／60歳代／会社員

○固定資産税等、滞納者への厳しい処分(氏名等の公表)。苦しくも払っている人の事を考え、一日も早い対応が必要。行政が甘すぎるのではないかな。／男／60歳代／自営業

○子供の医療費の窓口負担は無くすべき。子供の口腔内環境保全として、フッ素洗口の推進。／男／30歳代／自営業

○1)学校の図書館よりひどいので、図書館の建て替え。2)歴史ある建物「白馬館」は、私物であるが村で買うなどして活用する。3)白馬を含む北アルプスを世界遺産を目指す。4)車山地域の発展、観光への活用(ロケーションが一番)。／男／60歳代／その他

○白馬の自然環境にあこがれて移住して丸9年になります。それには満足していますが、高齢になり、それだけでは暮らしていけないと感じています。年金は目減りし消費税は上がり買い物の時は、以前以上に考えながらです。健康についても、年をとるとはこういう事かと、感じるこの頃です。自分で気をつけるのはもちろんですが、公共の支援がとても必要だと感じています。白馬の高齢化が高くなっています。安心して暮らせる村でありますように願うと共に、若者が定着する村になって欲しいです。その為の支援と、魅力ある村になって欲しいです。／女／70歳以上／その他

○引越して来て、とにかく生活にお金がかかるなと言う印象です。電気、水道、ガス、村民税、地区費、協力金などなど…。高いです。ゴミ袋もびっくりしました。若い方達に、安く家や土地を貸していただけたら良いですね。住んでみたいという人は沢山いらっしゃると思います。／女／40歳代／自営業

【仕事(雇用)】

○若者が、進学、卒業した後帰ってくる割合が、非常に少なく感じる。そういった人達が安心して帰ってこられる環境(主に就職先)等が、充実することを心より願う。／男／40歳代／会社員

○教育に力を入れて、優秀な人材を育てる事。その人材を活用できる新たな産業の育成が必要。首都圏から離れているハンディが余り気にならない、IT企業の誘致に力を入れてはどうでしょうか。観光一辺倒ではダメです。／男／40歳代／会社員

○子供達が村内に定住して(働くところは村外でも良い)、家族がもてるような(少子化対策)、環境が欲しい。／男／50歳代／自営業

○新たな産業誘致をし、働く場の確保と、人口増加を期待する。／男／50歳代／公務員

○成長した子供達が都会から帰ってきたくても、仕事が無い為、帰って来られない現状が過疎を進めていく。不安と高齢で、雪かきが出来なくなった時に住み続ける事が出来るか不安です。／男／50歳代／自営業

○仕事(通年)を安定させて欲しい。若い人材が村内で活躍できる場が必要。／男／50歳代／会社員

○白馬村は四季を通じて、日本一のリゾート観光地を目指す!!外国人を含む観光客が行ってみたいと思う村作りをすることで、若い人の働く場が増加し、子供も生まれ人口増加し、村が活性化される。今の学生が、白馬村で将来働きたいと思うような村に、学生も参加した村作りの取り組みを、継続すべき。外国人の意見も十分取り入れたい。／男／60歳代／その他

○若者が帰って来ても働く場所がない事が現状です。民宿など観光で携わっている人でも勤めに出ています。白馬村の観光は大事ですが、それだけでは将来発展しないと思います。工場誘致など働く場所があつてこそ、基盤がしっかりするものと思います。今は観光一辺倒のような気がしてなりません。色々なアイデアを駆使し、働く場所の確保が大事と考えます。／男／60歳代／自営業

○若者が帰村できる環境の整備。若者が働く場がない。大学などを卒業した後、帰村したくてもできづらい状況がある。／男／60歳代／公務員

○夏の雇用促進に村で何か出来る事がないか(住宅の確保など)。冬はスキー場などの仕事はあるが、夏は少ないと思われるので、定住する人が少ないのではないかな。・安い賃貸が少ない。また物件も少ないため、白馬村以外の住宅も検討してしまった。／女／20歳代／主婦

○高校、大学を卒業しても、家から通える範囲に働くことがで

- きる会社がありません。観光地としても中途半端な状態で、通年で観光客の方達が来客されるような町並みを造り、楽しめる場所が全くないと思います(グリーンスポーツも規模が小さいと思います)。結局観光の方でも雇用が生まれません。みんな安心して白馬には帰ってこれないのが現実です。／女／20歳代／会社員
- 臨時や冬期の仕事ばかりでなく、若者が安心して働く場所が増えたら良いと思っています。定住できるような所があれば良いと思います。／女／20歳代／その他
- 少子化になり、また、働く女性が増えています。安心して出産し、また仕事に戻り働けるよう、会社などがしっかり保障していけるようにしてほしいです。また、子供が小さい時も、正社員として時間を短縮した勤務にし、いずれまたその女性の子育てが落ち着いたらしっかり働けるまでの体制を、村全体がしっかりと支援していくべきでは？／女／30歳代／自営業
- 3歳児以上は保育園に共働きで働いていなくても、全員が入園できればとてもうれしい(1人目の時は産休、育休が取りやすいが、2人目でまた産休、育休は、よほど良い会社でないと、取りにくい。1人目を預けて2人目を自分で少しの間見て、それから社会へ(就職活動)という形をとらないと、少子化は止められないと思います。)。／女／30歳代／会社員
- 子供がいて仕事をするのがとても難しい。児童クラブは、この観光地なのに週末やお盆、年末年始はやってないなど、子育てをもっとサポートしてほしい。／女／30歳代／その他
- 男女共に通年を通した安定した職場や、主婦が子育てをしながらでも安心して働ける職場の提供を、村としても手助けしていただきたい。観光地という事で色々な人が出入りする村なので、子供の登下校の安全確保(冬の雪の多い時だけでも)してもらいたいと思います。／女／30歳代／主婦
- 若者が安心して就ける職場の増大を望みます。／女／60歳代／農業
- 若者が定住してくれる産業の確立を。／男／70歳以上／自営業
- 若者が村外へ流出無き様、全ての産業の推進を図り、働く職場を提供する事が最も大切である。／男／70歳以上／その他
- 若者の就業先が増えないと人口流出が止まらないと思います。／女／50歳代／その他
- 今いる住民が、村外に出て行かなくても暮らしていけるように、収入を得られるようになって欲しい。あらゆる産業の振興が必要と思う。／女／50歳代／自営業
- 若い人の働く場が増えると、もっと白馬に戻ってくる若者が増え、人口も増加し活気が出てくると思います。休耕田の活用、滞在型の観光、白馬高のスキーを全国的にアピールとか？／女／50歳代／公務員
- 一旦村から上京して行った子供達が帰って来た時の仕事が出来る環境作りをしていただきたい。・地域の特色を活

- かしつつ、村全体でお客さんを呼べる観光事業、特にグリーンシーズンをどうするか。マラソン大会やコンサートなどを考えていただきたいです。／女／50歳代／自営業
- 村民(若い人々)が年間を通して仕事がある(働く場所)環境が必要だと思います。村で働きたくても仕事が無いという声を良く聞きます。このアンケートも若い人達の意見をもっと聞いて欲しいし、この結果も村民にわかる様にしていきたいです。色々なアンケートをして村民がどう思っているのか、行政の方々も大変だと思いますが、村の声を村民にわかる様にして下さい。／女／50歳代／会社員
- 観光が全ての基盤となるので、人材を確保する為の子育て世代の労働力を使って欲しい。保育所、学童保育を充実させて、働く環境を用意できれば、人口の流出を防げるのではないのでしょうか？／女／50歳代／自営業
- 1)後継者問題 多くの宿が、自分達の代でやめようと思っている。宿だけではやって行けないので、農林業、自然界のガイドなどを副業としてやって行ける場が欲しい。もちろん後を継ぐ本人もその気になって努力しなくてはいけない。2)子供達が自然の中で色々活動し、優しくてたくましい大人になれる環境作りが必要。野外活動、登山、キャンプ、素晴らしい自然があるのに、野外活動がとても少ないように思う。／男／60歳代／自営業
- ・雇用の安定確保及び新規雇用の創出。・白馬村の宣伝の強化(メディアに出て全国的にもっとPRする)。・白馬村ブランド品の作成及び全国的にPR。／男／30歳代／会社員
- 1)スキー備口的開発かつ、白馬のブランド、水や緑や自然環境を活かした精密やIT産業と連携。2)山はアルプスのハイジの村づくりを。／男／60歳代／農業
- 観光だけで生きられるのか？ 子供達の将来、白馬に働き場所を見出せるのか？ 心配。／男／60歳代／自営業
- ・若者が移住、定住したくなる産業、事業の創設、移住を促す施策を練る。・職員、観光産業に携わる人が繋がり、営業マンとして首都圏、海外へ情報発信と誘客を働きかけるプロジェクトチームの創設。／男／60歳代／自営業
- ・自然、特に山岳観光だけに頼らなくても良い産業があれば良いと思う。・冬はインバウンドが今は良いが、日本人にも来てもらえる様に努力するべきだと思う。・里山の整備を進めて、野生動物と上手に線引きを出来るようにしてほしい。／女／50歳代／会社員
- 高齢者が住みにくくなっていると感じます。また通年で働ける場所が少なく、若者が定着しない。生活環境を整えば暮らしやすい村なのに…と残念に思うこともあります。頑張っていたきたいです。／女／40歳代／会社員
- 観光で成り立っている村のわりには、子育て世代の母親の働ける所が少ない。もしくは、小学生高学年も、夏休みなど、学童など行きやすい所があると良い。／女／40歳代／その他
- 若い人が村を離れなくても生活していけるように産業、仕事、子育ての面で支援をお願いします。／女／60歳代／主婦

- 若い人達が勉学の後、村に戻ってこられるような(働く場がある)村であって欲しい。／女／60歳代／主婦
- 次世代の事を考えた施策を希望します。「限界集落」にならないため、移住者の誘致も重要です。その雇用は「通年観光」の発展で実現可能。／男／60歳代／その他
- 今のままでは人口が減少してもやむを得ない村だと思えます。地元出身者がUターンに戻ってこられるために、年間雇用施設(観光以外)の充実と、インターナショナルスクール等、白馬に住めば自然と英語が身につく環境、施設作りが必要。また教育と医療機関を充実させないと、白馬に安心して住めるとは思えないので、そこに力を入れて欲しい。また安曇野から糸魚川までのR148の上を高速道路にして白馬ICを造って欲しい。／男／30歳代／会社員

【行政及びアンケート関係】

- まず、行政側の村政運営に対するビジョンやマスタープランが不透明で、且つ、リーダーシップが足りないと感じます。平均年齢の高齢化が進む、人口9000人強の村が生き残るための施策とは何か？税収入の見込める世代の定住促進と雇用対策、村民の雇用を増やすための産業基盤の増強、Uターン、Iターン希望者への白馬村定住のメリットの創出…観光客も移住希望者も、村に魅力が無ければ来ない。既住者にも住み続けることの良さを示して欲しい。／男／40歳代／会社員
- 住民票のある人や、ふるさと納税をした人に、白馬村内の共通リフト券を発行できないか？税収に繋がると思う。村役場の方がアドバイスを求める相手が、外から見ると、良くない人の事が多い。人選を厳しく、売り込み好きの人は良くない。／男／40歳代／自営業
- 様々な観光イベントが、立ち上げては、いつの間にか消滅している事が多いと感じます。唯一続いているのは「塩の道」の印象が強いです。腰を据えて取り組んで欲しいです。／男／50歳代／自営業
- 区は何年かの間になくす。議員も減らす。／男／50歳代／会社員
- 観光課と観光局の一本化と、大町、小谷との連動した観光局づくりをして欲しい。／男／50歳代／自営業
- まずこのアンケートの取り方ですが、村長の方針が全く出しておらず、皆さんどうしましょうという聞き方では、平凡な平均的な答えしか出ないでしょう。村長はせつかく選挙で選ばれたのですから、まず村長の方針を出してその為にはこの様にしたいのですがどうでしょうか？と聞くアンケートでなければ駄目じゃないでしょうか。それはさておいて現在住んでいて感じる事を記します。白馬村はスキーを主体とする観光業で生きている村です。観光向けの投資は累計すると莫大な額を既に投資しており、今更他の産業で食べていくわけにはいきません。少子高齢化がますます進む中で、どのような施策をするにしても村は資金が必要となり、税収が上がるような施策を取らざるを得ないと思えます。現在のような税金滞納による差し押さえが頻繁に行われている

- 経済情勢では、子息が家業を引き継ぐことも出来ず、仕事を白馬村内で見つけることも出来なくて村人口の減少を招き、活力がいよいよ無くなってしまいます。行政の仕事は村民が安心して暮らせる施策を取ることにあると思えます。そのためには一般家庭と同じで産業を隆盛させて村民が収入を増やすことが出来るようにもっともっと知恵を絞って／男／60歳代／自営業
- 問9は、現状がわからないものは、3番と回答しました。広報はくば、村議会だより、広域連合の広報誌のとじ方が左右ばらばら。こんな事も統一できないの？／男／60歳代／自営業
- 最近では専門家や第三者委員会などへの委託(観光局長人事を含む)が多く感じています。多少は必要と思われませんが、自分達の村のことは自分達が決め、行動することが基本と考えます。責任の分散化でなく、村民の知恵を結集することが大事では…と思えます。／男／60歳代／その他
- このアンケートを取って、本気で取り組むのでしょうか？／男／60歳代／自営業
- 役場の内の職員の教育。対応とマナーが出来ていない。／男／70歳以上／公務員
- アンケートの内容が役場の中で完結しており、とても偏った内容だったのでとても答えにくく、内容そのものが不良なアンケートだった。特に問22など、教育分野の質問では、学校教育と生涯学習の概念があまりにも世の中の定義とずれていて、生涯学習は年配者のためのものであるが、同じようにして考えている時点で、教育充実はありえないので、考えを改め、教育充実をしていただきたいと思えます。／女／30歳代／会社員
- 行政区、入村料の意味がわからない。土地を購入する前に説明すべき。区によって区費が異なるなら、この土地はいくらの区費でどんなサービスがあるかを村が公表すべき。外から来た人は、意味が分からず区に入るよう言われる。入らないならお金は払わなくてよいが、消防に来てもらえるかは分からないよと言われたが、火災があれば広域消防が来ない事はないと皆言う。区費を払わない人が街灯の下を通れない事もないのに、真に受けて区費を払うのはバカらしい。街灯の交換代、消防負担金は村でまかなうべき。ますます行政区に入る人は少なくなるであろう。自分も数年後には脱退する予定。／女／30歳代／自営業
- 役場の中の笑顔が欲しい。／男／70歳以上／その他
- 行政が不透明で、役場の感じが良くない。私語が多すぎる。観光局が役に立っていない。／女／60歳代／自営業
- 住民と行政の協働。／女／70歳以上／主婦
- 庁舎に行った時に感じましたが、誰一人として何の用で来たのだろうか、気にかける職員がいません。どうなのでしょう？／女／70歳以上／自営業
- 神戸に長く若い時代に住んでいた知人に、20年間、神戸市政に参加していた友人がいる。白馬村の村政について聞いてみた。一言「積極性が無い」／男／70歳以上／その他
- 村民アンケートは責任を村民に負わせる物。行政者はしっかり村を見て、自分で決める事！／男／70歳以上／自営

業

- 観光を重視するなら、自然保護、環境保全に関して、他に例のない独自の条例を作る。「ゴミのポイ捨て」「犬の糞」「ペットの許可制」など、先進的かつ、積極的な取り組みが必要です。条例には罰則が必要です。／男／70歳以上／その他
- 他の行政地に比べ、白馬村の職員が村を良くする為の活動が見えない。もう少し現状を理解し住民を巻き込んでもアイデアを出し進める。積極行動があっても良いではないか。気楽すぎないか！／男／70歳以上／自営業
- 何十年も前から何かイベントを始めても長続きしない。オオヤマ桜を植えるといったのも、いつの間にか聞かなくなったように…。人の意識を変えるのも村づくりに必要ではないでしょうか。行政に住民参加と言われても、行政の決めた方向へ持って行こうとして、住民の意見を聞こうとはしませんでした。／女／50歳代／会社員
- 問15に関しては“公共サービス”という事が漠然としていて分からないため、未記入としました。／女／50歳代／主婦
- ・無線が時々聞こえない事が多いので、各家庭用のものを時々点検して欲しい。・白馬高をより良い学校にして、全国からでも様々な事でやる気のあるいい子が集まる様に(たくさん)なって欲しい(スキーなら外国からでもいいコーチを呼ぶとか)。・スポーツだけでなく、音楽など文化的な事も大事にして欲しい。／女／50歳代／公務員
- 何事も区からの意見要望のとおりまとめて事業が進められている感じがする。女性、高齢者、子供等からも話を聞いてあげられる機会をもっと増やして、その意見を取り入れて欲しい。毎年、同じ事の繰り返しではなく、無駄な事は継続しない新しい事を取り入れる行政を進めて頂きたい。／女／50歳代／会社員
- 役場職員は公僕としての意識を持ち、仕事をすべきである。ボランティア募集するだけで、自分達はしっかり給料をもらい仕事をしているのではないか。税金の滞納があるのが当たり前である。できるだけ白馬村に税金は納めたくない。／男／60歳代／自営業
- 白馬村観光局の更なる活動と住民へのアピール。白馬村観光局は大切です。観光立村の要で、職員は名誉職です。誰も認識していないのが残念ですが。／男／30歳代／自営業
- 外国人対策として、英文等による周知、看板をもっと多く。ゴミは出す区には入らない、清掃等に参加しない。もっと役場が前面に出て欲しい…。区まかせや、観光協会まかせではダメ!!村職員の英語や朝鮮語、中国語のレベルアップ、勉強会を庁内でやっては。区費が高い。せいぜい月500円、年6,000円だよ。年30,000円だから区にも入らない!!当然といえば当然!!区費が違うのも理解できない、同じ村民なのに…。／男／60歳代／自営業
- 役場職員の対応及び資質の向上。／男／60歳代／その他
- この冬の道路状態の悪さ。陥没があちこちであり、修理がなされず(追いつかず)被害にあいました。スキー客等からも苦情が聞かれ、白馬のイメージ悪化に繋がりがねませ

ん。／男／60歳代／自営業

- 1)職員が住民の立場に立って、仕事を行えるように、自由に意見を言える役場にして、学習、研究して仕事をして欲しい。「前例」を見直す。村長や課長が率先して。2)行政区のあり方を研究し、村内統一した考えで区費や区の自治を進めるように。／男／60歳代／その他
- 行政全般、スピーディーに!!／男／60歳代／その他
- アンケートが多岐でそれぞれの項目が具体的でなく、答えにくい。これによって何を目標そうとしているのか。／男／60歳代／農業
- 1)観光立村として村全体のボランティア活動により、花の白馬づくり等の活動が必要。2)公務員、役場職員全員が先頭に立って、ボランティア活動の実現(毎年1~2回)を行う。／男／60歳代／自営業
- 特に今は無いが、役場職員はもっと住民サイドに寄るべき!!／男／60歳代／会社員
- 住民の意見を良く聞いて欲しい。前向きな行政。／男／60歳代／その他
- 行政情報が表面的な情報で、村民に隠しているのではと思う。下水道の未納の件も責任があいまいで、よく公務員にある責任を取らない体質で、改革しようとする気がないと思う。業務監査は、元職員OBだとか有力者でなく、役場に関係のない人を選すべきである。／男／60歳代／その他
- 思う事はたくさんある。不満もある。言いたい事はたくさんある。伝える場も機会もない。このアンケートも反映される日は来るのかと疑問に思う。もっと若い人が中心になってもいいのでは?／女／70歳以上／自営業
- 私の所では、村の放送が聞き取れません。様々な情報の全てが分かりません。防災情報は、これから重要になります。村の職員は、全ての地域で確認して下さい。昨年、熊の情報は他の地域の友人が教えてくれました。／女／70歳以上／主婦
- 職員のやる気が大事だと思います。不透明な事は減らして欲しい。えらそうですが、良い事は見えづらいけど、悪い事は目に留まります。無駄な支出だけは止めていただきたいです。／男／40歳代／会社員
- 全ての村役場の人達には、何も期待はしていません。期待するだけムダなので、現状維持でいいです。／女／40歳代／その他
- 白馬にはよそから来たその分野のプロがいっぱいいますが、その分野で活躍しようと思っても、よそ者だからと活躍の場をはずされる事しばしばあります。白馬でのイベントはパクリ、工程はグダグダ、村の宣伝は下手と、何年経っても何をしても進展なし。だったら都会での経験や大手の会社にコネのあるよそ者を利用しない手はない。人に頭を下げる事を知らない白馬人、白馬村は大きくはならない。20年程白馬に住んでいるが、未だに選挙の投票先を知らない。地区の方には「地区に入ったら教えてやる」と言われた。税金は払っています。なのにこの扱いは?他の市町村はハガキに地図をつけるのが当たり前です。白馬は無理ですか?よそ者は投票する権利はないのですか?／女／40

歳代／主婦

- 答えとして記入したいが、自分と一致しない項が多く難しい。問われている内容が答えとして記入するのに、もう少し何か異なった形に表現できないか。／女／40歳代／自営業
- この様なアンケートをして、村が何か変わるとはとても思えません。税金は都会並みの金額なのに、何をしてもお金がかかります。にもかかわらず税金を滞納している人は罪悪感もなく暮らしています。村長に会うのに質問状を書かせたり、小さい村でやる事だけは都会と一緒に「無関心」になります。子供手当で年金や税金を払っているのが現実です。他県の方が多ければ、その知識をもっと活かして欲しいです。外者扱いは止めて欲しいです。／女／40歳代／主婦
- 人口が増える＝外国人の増大は、心配なところです。観光産業に絡む方は助かるかもしれませんが、一般住民は、交通マナー等、危険ありきで心配です。他、客が連れてくるペットのマナーも悪くて困る部分です。条例等でラインを決めて欲しいとも思います。／女／50歳代／その他
- 問9に返答できない程、村の事を知らない自分を発見。・問9の産業、観光で、観光局の存続についても聞いて欲しかった。・役場の退庁時刻を早くして、電気代、暖房代、残業代の経費を減らして、11.22神城地震に回して下さい。村民ですが公僕の自覚を皆様持って下さい。・役場の制服で個人の買い物などしないで、しっかり区別して下さい。／女／60歳代／その他
- 外国人土地売買について、北海道のニセコの様になってはいけない！しっかり行政が目を見張れ！／女／60歳代／主婦
- 有害広告や展示物、屋外販売機等の撤去が望ましい。村全体の美化を目玉として欲しいと思います。／女／60歳代／自営業
- 役場職員のプロ意識を望む(全員ではないが…)／女／60歳代／その他
- 役場職員さんの専門職員を育てて欲しい。例えば、建設関係、税務など。／女／60歳代／自営業
- 村長さんをリーダーに、もっと色々やって欲しい。／女／60歳代／会社員
- ここ何十年か白馬村の行政は、糸の切れたタコのように、あっちフラフラ、こっちフラフラと、何を狙っているのかわからない。総合計画があっても全く無視され、何のために苦労して作ったのか憤りを感じる。各種マニュアル作成においても、言い訳程度に委員会を持つだけで、策定されるとただの絵に書いた餅である。あちこちで開催されるイベントも山の方にあるが、これらの点を結ぶコーディネーター役がない為、線として結ばれずバラバラでまとまりが無い。今回のアンケートが有効に活用されるよう、しっかりしたビジョンの元に、行政全体が本気で村作りに取り組み、常に検証しPDCAサイクルをまわして欲しい。／女／60歳代／主婦
- 村役場の職員の対応が悪く、横柄。用事があるから受付前

でいるのに、誰も来ない事がある。約束を守らない(調べておきますと言いながら、返事が無い。)。職員によって、言う事が違う(これでいいですと言いながら、後から間違っていたとわかると、勘違いだったと言う。)。職員が義務に対する知識を確実にわかっている欲しい。不安になる。／女／60歳代／主婦

- 私は地震、秋の神城断層地震の被害者ですが、もう少し行政が何かにつけて動いてもらいたい。／女／60歳代／主婦
- 前回役場に行った時、すぐ感じたのは、とても暗い雰囲気、職員のやる気なさそうな、けだるい感が伝わってきました。これが白馬の顔かと思ってガッカリしました。もっと明るく、にこやかに接して欲しいと思いました。／女／60歳代／自営業
- 広報誌を各家庭に配布して欲しいと思っています。／女／60歳代／主婦
- 役場の駐車場が混雑している事が多いので、よい対策を考えて下さい。・図書館の充実。・デマンドタクシーをもう少し利用しやすく(土、日運行等。)。／女／60歳代／主婦
- 今の行政では何も出来ないでしょう。何が出来るかの的を絞って設問したらどうでしょう。何かお願いに行くと「金がないから出来ない」と緊急度の判定も出来ず、事例を躊躇するだけで進展していかない行政に何が出来る。村民アンケートは白馬村の関係者が行わず、第三者が集計すべきであり、公明な分析を願いたい。／男／70歳以上／農業
- R148号沿いに住んでいる。冬はエンカル散布。国道の雪を押し付けられ、それで苦労させられている。今国道拡張を予定されているようだが、すごい砂ぼこりに悩まされている。出来れば国道は他へ移動して欲しい。国道で自宅の土地はいつも割安な値で取られる。国道、歩道の拡張は反対。税金が(国道沿いだから)高く設定されているが、少し離れた所の方を高くし安くして欲しい。／男／70歳以上／自営業
- 役場職員の資質の向上を考えて欲しい。特に係長クラスの質の悪さが目立つ様な気がする。今いる若い職員が気持ち良く仕事出来る様な環境が、村民にも良い影響をもたらすのではないか。／男／40歳代／自営業
- 私から見て白馬村は、他の市町村に比べてこのアンケート内容の全面的大幅に遅れている様に見受けられるので、村的にもこれからもう少し努力をしてもらえたら幸いです。／男／40歳代／その他
- 148号を大型トラックが列をなして暴走している横を、子供が通学している状況で、いつ事故が起きてもおかしくないと心配しています。北城では、松川橋～平川橋間を40km規制にするとか、村からの働きかけは出来ないでしょうか？(安全協会かもしれませんが)／男／40歳代／会社員
- 周辺市町村が役場当直体制を充実しているにもかかわらず、白馬村役場では、当直体制がないのは今後の事も考え、どんなものかと思えます。将来的でも結構ですので、役場の当直体制充実に向け努めて欲しい。又、昼夜を問わず、特に英語の通訳人を確保してもらいたいです。／男／

40歳代／公務員

- 名鉄在住です。名鉄区の話はどうなっていますか？ 定住者がほとんどですが、下水道整備や上水道の経年劣化は大丈夫ですか？ 不思議な事だらけです。村民税だけしっかり徴収されて何一つ変わりません。名鉄区、上下水道、整備するべきです。／男／40歳代／会社員
- 役場が観光立村である事を理解し、村の職員が誰でも観光案内出来るようになる。／男／30歳代／会社員

【施設関係】

- 山のテーマパーク／男／40歳代／その他
- 白馬村をもっとアピールできる活動をして欲しい。電柱、電線を地下へ、EV急速充電を設置など。／男／40歳代／自営業
- 電柱、電線の無い、美しい景観の村になって欲しい。／男／40歳代／自営業
- 白馬村のポイントは、山岳風景と考えます。旅行者が心をとられる様な風景を実現するために、電線地中化は、ぜひ取り組んでもらいたい(白馬駅から見る山と、中学校庭から見る山の差を見て欲しい)。／男／40歳代／会社員
- 都会に比べて公園が少ない。自由に遊べる場が少ない。／男／50歳代／自営業
- 糸魚川から松本道路を早く。／男／50歳代／自営業
- 観光産業としての文化(美術、木彫、手作り品)等を、もっと観光客にアピールできる場が必要。観光客への雨天時対策。／男／50歳代／自営業
- 白馬村の自然、山々は本当に魅力的な村であるが、今後、国際グローバル化していく時代に、周りの県、市町村に後れを取ってはならない。白馬村が孤立しない為には、どうしたら良いか考えて！白馬村の人材育成、そして国との太いパイプを作って、整備、拡大事業を行うべきだと思う。長野から白馬、富山への高速道路、雪の多い場所ではあるが、企業誘致、又、スキー場を運用した夏のイベント他、村全体でのお客様を呼び込むその為に、しっかりと各部門の検討委員に実行、更にリーダーシップを取って、村民が盛り上がる白馬村として欲しいと思います。健康、福祉、医療は当然進めて行かなくてはならない課題。大町病院の産婦人科の継続は、絶対必要だと思います。／男／50歳代／会社員
- 美麻小中学校のようなコミュニティー学校への転換(北小、南小で別れているが、一つにまとめる)。オリンピック会場(スノーハープ、ウイング21)の有効活用。／男／50歳代／会社員
- 北城に公園や花見の出来る場所があったらなあと思う。又、トンボや蛍の飛び交う湿原等、あったらと思う。神城には、コンビニ以外に店があまりにもないのが淋しい。道路にゴミのポイ捨てが多すぎるが、ゴミ箱のないのも気になる。／男／50歳代／その他
- ジャンプ競技場を利用し、一流アーティストを呼びコンサート、それに続いてジャンプ大会(サマーグランプリ等)を開

き、白馬やジャンプ競技の面白さを発信しては？アイデア次第で白馬村をアピールするべき。やる事が全て中途半端な白馬村から脱却して欲しい。／男／50歳代／自営業

- 高速道路も新幹線もない白馬村は、陸の孤島か？せめて松糸道路を早期に完成すること。豊科と糸魚川を結ぶことが白馬村の生きる道か？ 高速道路が出来ると企業がやってくる。すると働く場所ができる。人口が増える。子供が増える。観光べったりでは駄目だ。外人で今はもっている。外人が来なくなったらどうなる白馬村は？ 長野で合併か？北アルプスをぶち抜き、日本海を目指せ。／男／60歳代／その他
- 白馬駅前と、駅前からまっすぐ八方の方に続く道路の付近を、もう少しセンスの良い、美しい街並みにすれば良いと思う。ラーメン屋やら居酒屋やら、白馬に合わない店などをもう少し規制して、ヨーロッパみたいな素敵なきれいな駅と、街並みにして欲しい。駅前のネオンはパチンコ屋のネオンみたいで、センスが良くない。 追伸-このアンケートは、内容が面倒でみんな回収できているのか？回収できていないなら、税金の無駄使い。もう少し書きやすい、回答しやすいアンケートにした方が良い。／男／60歳代／-
- 白馬村内幹線道の、産業用使用道と、観光用使用道の仕分け。／男／70歳以上／その他
- 日本の農業が工業化している現在、白馬村は、後追いすべきではないと思う。農地も含め新しい発想で土地利用計画を立て、世界に通じる生活空間が出来ればうれしい。／男／70歳以上／自営業
- 白馬の美しい景観を損なうような廃墟となった建物が、あちらこちらで目につきます。解体するには色々問題があるのでしょうか、何とか行政の力でならないものでしょうか。白馬全体でどのくらいそういう建物があるのか調査をされ、ご検討いただきたく思います。／女／20歳代／会社員
- 地区によって濃密であったり、入ってきた外部者に排他的であったりする見方が、いまだに感じる。村民全体の意識をまとめるような開拓が必要。(特に小さな子供を抱える家で)、多くの人達が集まって遊べるような公園を造って欲しい。もしくはグリーンスポーツの森施設をもっと充実したものに変わるetc。雨の日には遊びに行ける場所が1つもないので、支援ルームをもっと開放するetc。／女／30歳代／主婦
- 幼児、児童が安心して遊べる公園が欲しいです。出来れば全天候型で(冬期や梅雨の時期は、大人ならスキー、雨なら美術館などありますが、家族連れの観光客も大変困ってらっしゃいました。「雨の日の白馬は、行く所がない」はとてもマイナスイメージだと思います。)。晴れていても村内に公園がないので、大町や長野まで出かけないといけません。大変です。／女／30歳代／自営業
- 子育てをしていて感じる事は、公園、遊具の不足、支援センターの開放、子供達をもっと自由に遊べる環境を作れば、観光客の集客(家族連れ)にも繋がると思う。スキー+αで夏の景観を生かして、集客できるようになれば良いと思う。／女／30歳代／農業

- 子供が安全、安楽に楽しんで暮らせる社会。子供は、地域の財産です。大自然の中で、のびのび育てたいと願っています。その為に、社会が子供を守る必要があり、親も子育てがしやすい環境にあるといいです。財政の援助はもちろん、支援センターの充実も今まで以上に望みます。白馬の自然が村の宝なので、自然景観を守ってほしいです。／女／30歳代／主婦
- 2、3歳から小学生ぐらいまでが遊べる大きな公園を造ってください。現状、大町や他の地域の公園まで遊びに行っています。そこでランチしたり、お金を使っています。／女／30歳代／自営業
- 観光に夏、冬来られる方は多いと思います。公園の整備、雨の際に遊べる施設づくりの推進をすれば、家族連れの集客に更に繋がるのではないのでしょうか。松本から白馬まで乗換えがなく電車で来られると、更にうれしいです。／女／30歳代／公務員
- 子供を安心して育てられる環境の整備を望みます。自然環境に恵まれている＝子供の遊び場に恵まれているではない。悪天候時や冬に行ける室内の遊び場が必要。また、出産するのに病院が遠すぎる。／女／30歳代／自営業
- 山の景観を阻害する場所には家を建てない条例。職員の白馬村が好きという意識改革。／女／60歳代／農業
- 高齢者が安心して住める村づくりを望みます。施設の増加と医療体制の充実。／女／60歳代／会社員
- 大自然の上にあぐらをかいているのではなく、もっと自然を生かした観光を考えた方がよい。例えば、車山遊歩道をお金をかけずにできる方法を考える。／女／60歳代／自営業
- 松川の周辺を整備し、桜、つつじ、紅葉など植え、四季を通し村民やお客様が楽しめる場所になれば良いと思います。／女／70歳以上／主婦
- 観光経営への能力を高める場が欲しい。／男／70歳以上／農業
- 若い人達がいなくなり、今まで作って来た物の維持が大変だと思う。／男／70歳以上／農業
- 村長公約の図書館を中心とした設備の充実を実現して欲しい。又、新しい観光名所を開発(大雪渓開発等)して行く事。スイス型観光を目指せ！／男／70歳以上／自営業
- 第4次総合計画の結果評価を知らせて欲しい。・ウイング21やふれあいセンターの使用料を無料にして、特に高齢者の参加者への無料化を推進せよ。・定期健診のすべてについて無料化(高齢者)。／男／70歳以上／その他
- 川の工事はセメントなどでなく、石積みにして欲しい。／女／50歳代／主婦
- 白馬は四季折々魅力のある村になって欲しい。春は、三春のような桜の村。夏は、避暑の出来る涼しい村。冬は、インパウンドのスキーばかりでなく、日本の中高年が楽しめる村。秋は、紅葉スポットの整備等。／女／50歳代／自営業
- 観光客の多い所に公衆トイレを(冬期閉鎖しない)増やした方がよいと思います。／女／50歳代／自営業
- 高齢者が冬期などに農業が出来ない間に行ける、デイサービスではなく趣味のクラブみたいなのを作れば…。冬でも出来るハウス内の農業とか、編み物、将棋、囲碁クラブ等々…。あと、役場の駐車場がいつも満車の為困っています。／女／50歳代／自営業
- 村の中心的スポットになるような芝生の公園があれば嬉しい。／女／50歳代／自営業
- 美術館＋公園＋散策 統合した村民の集村公園(場作り)。図書館の充実。伝統文化、産業の統合した発展。農を大切に村作り。／女／50歳代／その他
- 無電柱化。ジャンプ台を体験型アトラクションに。雨天時も楽しめる大型温泉プール等。アウトレット、ゴルフ場、散歩道、自転車専用道路。ふるさと納税にリフトシーズン券も入れるべき。／女／50歳代／自営業
- 何故、みそら野だけ下水道がこないのですか…？／女／50歳代／自営業
- 観光地白馬と言いつつ、都会からのアクセスの悪い事。観光地白馬と言いつつ、大きな総合病院(入院施設のある)がない事。観光地白馬と言いつつ、若い人達の雇用場所がない。観光地白馬と言いつつ、観光客の方々に遊んでもらう所、どこを案内すれば良いの？ 独居老人が増えています。介護施設を増やし、安心して住める白馬にして欲しい。介護施設の充実に雇用も促進になれば。白馬は何を目指したいのだろうか？ 村長。／女／50歳代／会社員
- 問24で増加の方向でとしたが、外国の方達がどんどん増えるのもどうかと思う。・高齢者が多くなる現状で、今、認知症(アルツハイマー等)の対策が必要と思う。他の自治体で色々な方法で取り組み、ある程度の成果を出している所もあるとテレビで知った。デイサービスは絶対取り組んで欲しいし、村でも(ふれあいセンター等で)考えて欲しい。／女／60歳代／主婦
- 木流川、詩の小道、野平等に古民家移築、古民家再成で一つの観光の目玉になるような街づくり。農産物の店や温泉なども、歩いて楽しめる距離にある方がよい。山の景色は美しいが、天気が悪いと何もないと、お客様に言われます。木曾や金沢のように歩いて楽しめる街並みは出来ないか。／女／60歳代／会社員
- 転入してきた時は、豪雪、子育て等大変でした。時に子供達は、耳鼻科専門の病院が今でもなく、医療分野が偏っている気がします。出産も病院が遠くなり大変です。／女／60歳代／主婦
- 姫川岸に大山桜などの並木を造り、休める場所を設けてはいいが。・里山を整備し、散歩ができるようにすると野生動物から農地を守り、観光資源にもなるのでは。・診療所入院可能な状況にして欲しい。・まずは、農業に関する産業(含工業)を興し、村全体を株式会社にしては…。／女／60歳代／主婦
- 1)白馬村を訪れるお客さんを通年に来ていただく方策をしていただく事。2)スポーツ施設の充実(人工芝とか天然芝コート他)。3)雪室の施設が欲しい(野菜、米、そば他、貯蔵に最適です。)。4)観光地にしては道路がひどい(穴あき

- 等)。／男／60歳代／自営業
- 訪れた主に観光客が、天候が悪く行動できない場合の施設として、1)食の充実 例えば、道の駅に隣接して店等(ケンタッキーフライドチキン、かっぱ寿司)ファストフード街の展開。2)商業施設の誘致(観光客だけでなく、村民も近隣の住民も集まる様な店舗構成) 例えば、ユニクロ、ヤマダ電機、カインズホーム、タイヤ館等のショッピングモールの設立など。／男／70歳以上／その他
- 塩ノ道東山街道の整備(小谷村～青鬼)。白馬豚のブランド化(エサの工夫(リンゴ、どんぐり等))ハム、ソーセージまで。村内に豚肉専門店の国際食事所を作る。豚肉に合う野菜を作る。／男／60歳代／自営業
- 景観の良い所の電線、電柱の埋設。／男／60歳代／自営業
- 観光局の場所について、もっと判りやすい所に移設してもらいたい。駅の近く、国道沿い、オリンピック道路沿い、観光で訪れる人達に判りやすい、気軽に立ち寄れる場所に希望します。／男／60歳代／会社員
- 外国人観光客が「道が暗いけど安全ですか?」と言っていました。街灯を増やせば安心できると思いました。／男／20歳代／その他
- 住民向けの村営バス(夜間も)が欲しい。リゾートを目指すのではなく、今ある自然環境、文化が既にワールドクラスである事を理解し、海外からのお客様が10年、20年、30年来て頂ける様、努力する。／男／30歳代／自営業
- 白馬村の更なる発展の為に、基盤となるインフラ整備が必ず必要です。白馬村の経済の発展は、単に観光等にだけ強化しても同じ事だと思えます。道路や鉄道等のインフラが無い事がそもそもの失敗です。インフラがあれば、自ずと村の経済はあらゆる分野で発展し、人口が増え少子化等の問題も無くなる様に思えます。／男／30歳代／自営業
- 公園が少ないと思います。既存の施設を活用して(白馬ジャンプ競技場)村民、観光客などが楽しめる、芝生エリアや遊具などが充実した公園を検討していただきたいです。／男／30歳代／会社員
- 東北の震災復興で、ある町で60歳以上は口を出すなと若者が真剣に取り組み、成果をあげていた(マスコミ報道)。個人的に賛成である。／男／60歳代／農業
- 観光ばかりが白馬の産業にせず、もっと企業が来られる様に土地提供とか、企業誘致をもっと力を入れて欲しい!／男／60歳代／自営業
- このアンケートはどの位費用がかかっているのか? 役場に目安箱、設置してはどうですか。／男／60歳代／自営業
- 日常の暮らしの中で住人が“おもてなし”精神を持てる村づくりを目指して欲しい。／男／60歳代／自営業
- 自治体として、屋内全面禁煙(これだけ外国人が多いのだから)の条例を作る。路線バスの充実など、公共交通機関を充実させる。電柱地中化で景観保全。／男／60歳代／自営業
- 1)白馬町商店街の整備(外国人、国内のお客様が楽しめるショッピングモール)。2)ふるさと納税の推進(農産物、宿泊券、リフト券のプレゼントを充実させる)。3)地域行事の復活(細野神社御柱、おんべ、鳥追い)。／男／60歳代／農業
- 松系道路の早期着工。これなくして前に進まない。企業誘致し若い人の働く所を増やすべき。／男／60歳代／自営業
- 国、県道(148号、オリンピック道路)等の整備を。長野市等へ通勤、通学時間短縮により、村内への定住者を増やす。希望する。／男／60歳代／会社員
- 村内道路整備をしっかりとやって欲しい(穴等が多い道路がたくさんあります。)。／男／60歳代／その他
- 毎年外国人観光客が増加している事は、すなわち、それだけ素晴らしいスキー、山岳リゾートとして認められている事と思われれます。その期待に応えられるよう、スキー場の設備、レイアウト、ホテルなど村内道路…。将来計画を村主導でマスタープランを作り、10年後、20年後にはヨーロッパのリゾートにも負けない村にしていって欲しいです。現状は利害関係優先で、村、スキー場のレイアウトはメチャクチャです。／男／60歳代／公務員
- 1)温泉の熱や焼却場のエネルギーを利用して、温泉や温水プールなどで、いつでも寄り合える憩いの場、そこに麻雀や卓球、軽いスポーツができる遊びの場であつたら楽しいと思います。2)軽いスポーツをしながら脳も使う、認知症予防のスポーツの場があつたら良いと思います。／女／70歳以上／自営業
- 地区ごとに小さな事業をやめ、大きな事業(例えば、ゴンドラ周辺を整備し、道路を拡げ、休憩場等を設ける。)をする。どこか白馬村を集中的に力を入れる(たとえ犠牲地区が出たとしても、将来的に働く場所が確保出来れば。)。／女／70歳以上／主婦
- 1)診療所のそばに薬局ができれば一番嬉しい。2)神城地区にも大きめのスーパーがあればいいなと思う。／女／70歳以上／主婦
- 観光面で、白馬駅は観光地にもかかわらず、エレベーターもエスカレーターもない。駅を整備するのが難しければ、北陸新幹線も出来たので、糸魚川までの送迎バスなどを始めれば、関西、北陸のお客様を増やせないだろうか?新潟に行った時、白馬は宿泊料金が高い所ばかりのイメージで行く気にならないという人がいました。リーズナブルな所もあると思うので、そういう面も宣伝してみてもどうでしょうか?／女／70歳以上／主婦
- これから高齢化時代になっていくので、生き生きと過ごせるような施設。大雪や地震などの対策に取り組んで欲しいです。／女／70歳以上／主婦
- 滞在型観光客が散策できるような自然環境を活用したミニ公園や、東山の里山を利用したハイキングコースの開発。／男／70歳以上／農業
- 早急に神城地震の対策をして下さい!オリンピック道路より見る堀之内、三日市場の風景が変わりますネ!／女／70歳以上／農業
- 外国人の区への加入を進め、ゴミ問題と平等に対応すべ

- き。／女／40歳代／自営業
- 障がい者への施設を向上、造って欲しい。／女／40歳代／主婦
 - 高速道路ができれば流通も良くなり、観光客も増加すると思う。高齢者や障害、後遺症などでサポートが必要な人でも、安心して旅行に来てもらえるホテル、施設があると良いと思う。／女／40歳代／主婦
 - 自然に恵まれ、素晴らしい景色を望める白馬村を、ウインタースポーツにとらわれず、四季を通してもっとアピールして欲しい。トレッキングブームにもっと乗るべき。インバウンドばかりにせず注視、グリーンシーズンの産業に力を入れるべき。豊富な温泉も活かし、温泉地としてももっとアピールすべき。もったいない。アウトドア産業の村のくせに魅力的な公園も遊具もない。支援ルームにあんな高額な遊具を入れるなら、グリーンスポーツをもっと何とかした方がいい。住民全員、+観光客も遊べる所にお金をかけて欲しい。空き施設を利用し、室内プレイスポットを作ったりしてもいいと思う。明るく、楽しい村になれるよう、もっとまとまりがあるといいですね。魅力的な観光地(活気がある)になれば、住民も増えると思いますよ。／女／40歳代／会社員
 - 白馬村図書館を充実させて下さい(本が汚い)。厳しい予算の中だとは思いますが、文化、教育水準の低い村にはしないで下さい。／女／40歳代／公務員
 - 遊具のある公園 あずみのの公園のような遊具、室内施設があれば住民も観光客も楽しめるのに。最近の道の駅やSAを訪れると、白馬村は遅れているなあと、つくづく感じる。／女／40歳代／主婦
 - もっと子供を育てやすい村にして欲しい。子供を安心して遊ばせる公園を造って欲しい。わざわざ公園で遊ぶため、大町、松本、長野まで行っている。子供の医療費の窓口負担をなくして欲しい。他の市町村では、当たり前になっている。／女／40歳代／主婦
 - 児童公園(遊具のある)が村内に欲しいです。安全に散歩できたり(歩道も少ないので、散歩に気を使う。)。／女／40歳代／主婦
 - ・図書館の新設。・道路の破損を春になったら早く修復工事すべきだと思います。パンクします。・上下水道代が高すぎる。・家を新築する際の下水道新設料金が高すぎる。／女／40歳代／主婦
 - 耳鼻科が欲しいです。／女／60歳代／主婦
 - もっと良い図書館が欲しい。／女／60歳代／主婦
 - ・現在村内には、眼科、耳鼻科、小児科、産婦人科の専門医療がありませんので、困った事がありました。又、総合病院のある大町市、安曇野市方面は、救急車が通るにも順調に行かない所もありますので、周りの市町村とも協力して改善していく必要があるのではないのでしょうか？・村主催で行う、スポーツ、文化などのイベントについて、村内では宿泊、旅館業に関わっている人が多いので、なるべく多くの人が参加できるような日程を組んで欲しいと思います。・村内で働く人が安心して働けるような、高齢者、乳幼児を預けられる施設の充実を望みます。／女／60歳代／

- 自営業
- 登山、スキーは既に整備されているが、素晴らしい景色を活かして、ハイキングコースの充実、レストラン(景色を見ながら食事の出来る)の充実を図って欲しいと思います。／女／60歳代／主婦
 - 中・高年向けの健康作りの施設や図書館の内容充実をお願いしたい。／女／60歳代／主婦
 - 望む事は、無電柱化。始めに白馬駅から八方までの間でも良いです。白馬三山がもっと美しくなると思います。／女／60歳代／自営業
 - 白馬村で雨が降った場合の観光施設がない事が問題だと感じている。観光を大切にすることで、とても必要な事だと思う。又、スポーツプログラムが少なすぎる。村での活動にもっとスポーツを取り入れて欲しい。／男／30歳代／会社員
 - 観光産業への傾倒見直し。身の丈にあった自治体規模、財政規模のミニマム化。認可保育園の増設、子ども園を造るなど、子育て支援の充実。／男／30歳代／公務員
 - 白馬駅、ウイング21など、観光を大切にする白馬村としては、施設のデザイン、雰囲気美しくなく不満である。観光(山、スキー、自然)に対してもう少し真剣に力を入れて欲しい。冬と夏の産業をもっと明確にすべきだと思う。／男／40歳代／自営業
 - ・景観維持と自然保護。・東山側のトレッキングコースの整備。／男／40歳代／自営業
 - グリーンスポーツの森の整備、活性化。／男／40歳代／会社員
 - 病院が大町まで行かないと無い。夜間対応に不安のある村だと思う。／男／20歳代／公務員

【その他】

- 人口が増加する事が、理想的だと思います。住民が経済的にも精神的にも豊かでありたいと考えます。将来、子供達が白馬で暮らしたいと思ってもらいたい、と思います。／男／40歳代／会社員
- 道にゴミが落ちすぎている。ゴミゼロとは言わないが、みんながゴミの事を考えられるような村でありたい。／男／40歳代／会社員
- 村外からの移住者が入りやすくする為の環境を作る(1ター等)。学校等、学習の中に起業に必要なノウハウや、企業を支援(行政の)体制作り。／男／40歳代／会社員
- もっと外国人を意識した活動を、村民全員ですべきだと思います。誰もが英語が話せるような支援や活動、外国人に喜ばれる施設やイベント、もっとリゾートブランド価値を高めれば、白馬の発展に繋がると思います。／男／40歳代／会社員
- 可能性が色々な面で大きい白馬。素晴らしい景観に引かれて集まる人々。居住する人には、多くの才能をもった方が沢山いる。人々をつないで、しっかり活用していくと、自然と人と一体となった地域づくりはもっと大胆に、スピーディーに変化していけるのではないかと。／男／40歳代／自営業

業

- 変人や目立つ人の意見ばかり通るより、当たり前的事をきちんとと言える人を、育てて欲しい。／男／40歳代／会社員
- 少子化対策、子育て支援、高齢、障がい者福祉の充実、(ゆりかごから棺桶まで)に力を入れ、自然環境を守る。観光の充実、特にインバウンド、村内での言語(案内人や案内板)などに、もっと目配り、気配りが必要と思われる。／男／40歳代／会社員
- 白馬村へ来る方のほとんどが、“自然”に魅せられて来るのだと思います。白馬の自然環境が、村の生命線ですから、これを大切に、そして活かす事だと考えます。又、定住者を増やすには、生活への安心感が重要です。特に子育てへの安心感が重要だと思います。／男／50歳代／公務員
- インバウンドに頼らない、本当の観光振興策。／男／50歳代／自営業
- 小水力発電。林業副産物(間伐材)の有効利用。／男／50歳代／会社員
- やむを得ないというより、村内の中身が大事。幸福を感じられる村なら良いのでは。／男／50歳代／自営業
- 村づくりも大切な事ですが、今一番考えなければならないのは災害復旧で、このようなアンケートに、今お金をかけている場合ではないと思います。／男／50歳代／自営業
- 水資源、歴史資源、活用へ。／男／60歳代／自営業
- 村として他地域から人を呼び込み人口を増加させる風潮はあるのか。よそ者を排除する風潮が一部の人が感じている。佐久市のような前向きな取り組みをしなければ、昔から住んでいた人は減少。都会からの多様性ある移住者を取り込み、活性化ある村にするべき。／男／60歳代／その他
- 農業に先が見えない。観光と結びつけること。林業に対しても考えるべき。／男／70歳以上／農業
- 柔らかな縦横無尽に発想、発案の可能な頭脳を持つ学童、学生を対象に募集、表彰を催す事が出来れば支持。／男／70歳以上／農業
- 整備された河原に住み付いたホームレスを何とかして、あれは最悪。／女／20歳代／自営業
- より良い白馬村でありますように願っています。／女／20歳代／会社員
- 白馬が大好きなので、将来も安心して生活できる村でいて欲しいです。／女／20歳代／会社員
- 発展させる事は、さほど望みません。維持または、自然環境を守ることに力を入れていただきたいと思います。／女／20歳代／その他
- 心身ともに安心して、のびのびと子育てができる環境を望みます。／女／30歳代／主婦
- 村おこし制度的な仕事と家の情報公開、提供。／女／30歳代／会社員
- 世の中、歴史的なものに価値が出ている、スキーはもう現状で。その他、冬以外の事にお金をかけるべき。温泉や散策とおいしい物が旅行のメイン。中高年が求めている観光に力を。まずは村民の生活が安定しないと、観光などに力

- が入れられない。除雪は、各家も村がやっていく位にしないと、皆住めないと言っている。各地区で除雪機を置くなど、最低限やって欲しい。若い人が元気な土地は安定する。子育てと仕事の両立をされる支援を早く。／女／40歳代／会社員
- 知人の中には村に移り住んだ時、永く住んでいた村民からいじめに遭遇したことがあると聞いた。他地域からの人をどんどん受け入れる体制作りを。／女／60歳代／その他
- 高齢者が多くなっている様に思いますので、住みやすい村、そして白馬の自然を大切に美しく、優しい、楽しく生活出来る村を目指して、美しい山々が見られる村であって欲しいです。私達も小さな事に出来る事に参加して、美しい白馬村を造って行きたいと思います。／女／70歳以上／自営業
- 新しいものを追う前に白馬の魅力を再発見し、住民参加の環境整備から始めましょう。／女／70歳以上／自営業
- 結婚適齢期が過ぎた若い人の独り者が多い事が気になります。／女／70歳以上／主婦
- 地域での人間関係が、もう少し大らかで明るく楽しく過ごせたらと思います。／女／70歳以上／自営業
- 白馬村にはコブシの木が沢山あります。これを選び出し「白馬コブシ百選」(30でも良い)を作り、フォトコンテストなどをしては？／男／70歳以上／その他
- 村民アンケートの結果を活かして下さい。／男／70歳以上／自営業
- ・村内外の有能な人材の活用(人種、性別なし)。・具体的な企画はプロジェクトチームを編成し、3ヶ月～6ヶ月で終結を目指す。・国際化に必要な人材交流の促進。／男／70歳以上／自営業
- 近隣自治体及び、JRと協力して、大糸線の上下本数を増やすようにして欲しい。／男／70歳以上／その他
- 白馬で生活出来る幸せを維持したい。／男／70歳以上／農業
- アカ抜けた村づくりを目指せ。／男／70歳以上／その他
- 初めに市場原理主義は破綻している。TPPは貧富差の拡大、環境破壊など問題だ。1)農林業の振興は、雇用の増、水、国土保全、伝統文化を守る、一極集中解消、安定安心など、平和や観光と繋がる。資源は足元にある。2)観光、コブシ、桜、景観木など、登録管理して保全する。住宅周辺を美しくする運動。3)教育、自然の中での遊びや体験は、想像力や元気な後継者が育つ。4)自然エネルギー、食の自給率アップで雇用の確保。／男／70歳以上／農業
- 住民の高齢化が急速に進む。若者が地域に定着し、生活が出来る地域作りが大切だと思います。少子高齢化では、地域に活性化が進まない。経済的に若者が生活でき、大都会に流出させない事が大切だと思います。3世代が地域で生活出来るような村づくりを望みます。／男／70歳以上／農業
- 若者が住み良い環境整備。／男／70歳以上／自営業
- 村への移住者が増え始めてもう数十年にもなります。しかし未だに移住者との間に、感情のすれ違いを感じる事があ

- ります。同じ住民です。一致協力して村を発展させるべきです。／男／70歳以上／自営業
- 観光局が地区の観光協会と一体になって、村全体のイベントを考えるべきだ。／男／70歳以上／その他
- 特産品を作る産業を。／男／70歳以上／公務員
- 日本中でどこにも無い北アルプスの山々の景観などをもっとアピールするべき。観光も、夜暗くなり白馬に宿泊するだけでは駄目で、半日でも白馬に滞在させる必要がある。もっともっと大自然を利用した観光と産業の村にすれば若者も増えるはず…。／女／50歳代／主婦
- 今、一番心配な事は、車を運転できなくなると生活していけなくなってしまう現状があること。がしかし、震災に遭ってもやはりその土地に残りたいとするお年寄りがいる。東部地区の再建が良い見本になっていくと思う。村政、頑張ってください。／女／50歳代／会社員
- JRを利用すると、線路の側にゴミ、廃車等があると、せっかく来ていただいたお客様は不快な思いをされると思います。／女／50歳代／主婦
- 以前ある場所で定期試験の勉強らしき問題を解く生徒に会った。その内容を見聞きし、中学生だとばかり思っていたら、白馬高校の生徒と分かり、レベルの低さに驚いた。これでは生徒が集まらぬのも当然だと思っている。全国から生徒募集の計画もあるようだが、魅力はあるのか疑問だ。／女／50歳代／その他
- 白馬高校が存続なくなると過疎化の速度を増すと思う。商店の潤いもなくなる。／女／50歳代／自営業
- きれいな村づくりを希望します。各家庭が家の周りをきれいにするだけで、お金を使わず心がけ一つで見た目をきれいにすることは、観光地として一番大切だとずーと思っていました。汚くしている所は、注意すべきです。よろしく願います。／女／50歳代／自営業
- 村内の第三次産業における村民へのメリットが無さすぎる。他県がうらやむような村民である事の素晴らしさが実感できず、不満がつもの。白馬村村民である事への特典をもっと考えるべき。割引、優遇など、損して得取れ精神が、世の中を変えられるのではないかと思う。／女／50歳代／主婦
- 子供達は、白馬村やこれからの長野県、日本、そして地球に生きていく訳だから、しっかり勉強して希望する職業に就いて欲しい。その為には、子供の貧困問題をなくして欲しい。白馬村は中学校まで給食があって素晴らしいと思います。出来れば、白馬高校に学食があって、温かいランチが、それもホテル並みの給食があればいいのになあと思います。／女／50歳代／自営業
- このアンケートの質問が漠然としていて返答に困る。／女／50歳代／自営業
- ずっと白馬に住んできました。住みにくいと感じた事は一度もありません。でも時代の移り変わりと共に、他所から入ってくる人もいるし、色々変わっていくのでしょうか。どこに行っても普通に外国人がいる風景に違和感を覚えているのは、私だけでしょうか。／女／50歳代／自営業
- 自然環境及び景観が村の財産という考えで努力はされているとは思いますが、空き家、遊休地などをみると、観光地としてお客様を迎えたり、一村民としても良い印象を与えない状況が続いております。地主との関係で対策が難しかったりもしますが、早急に環境保全に見直しを持って進めていただきたいと思います(白馬三山を活かせるような、村民、行政が一体となって魅力ある村づくりを希望します。)。／女／50歳代／主婦
- 新聞をとっていないので、公民館活動などのチラシが入りできない。HPを有効活用し、情報を知らせて欲しい。更新や新しい情報掲載を、こまめにやって欲しい。／女／50歳代／自営業
- 外国人のマナー改善。／女／50歳代／自営業
- スキー場に外国の人が多くなりました。案内をする外国語を活かす事が出来るボランティアを育成する。／女／60歳代／主婦
- 観光が基盤の村にとって、あまりにも特殊な行政運営になっている事を感じる。その事も大切だが、住民としてここに暮らして良かったと思えるような、ノーマルな考え方ができる村づくりを願います。／女／60歳代／主婦
- 白馬村はスキーが一番の産業である。村民もスキーの出来るようにパス券の補助金を出していただき、村民がスキーをもっとやっていけるようにして欲しい。また、夏期においても登山に行けるように、ゴンドラの割引券が必要である。特に家族で登って欲しい為に…。／男／10歳代／自営業
- 昔のような3世代の生活を望む。／男／70歳以上／自営業
- 震災の風評を払拭できるよう、積極的に情報発信を行って欲しいです。／男／20歳代／学生
- 公共交通の活用と利用の推進。形だけあって使われていないというのはもったいなし、意味がないと思う。観光客優先の部分が多すぎるので、もう少し住んでいる人にも目を向けて欲しい。／男／20歳代／会社員
- 状況維持というと、すたるのが目に見える。人口を増やすべく子育てしやすい村作り、環境を(大町病院の医師確保を含む。)。／男／20歳代／会社員
- 冬の間にポイ捨てされたゴミが、雪解けと共に道路脇など村内いたる所に出てきます。村民が一丸となってゴミ拾いを行うようなボランティア活動の推進や、ポイ捨てを徹底的に無くすような施策、自然資源に恵まれた観光地として、他の地域と差別化した自然環境、景観保護を推し進めて欲しいと考えています。／男／20歳代／その他
- 村男最大アピール。／男／30歳代／会社員
- 柔軟な発想、行動力。／男／30歳代／会社員
- 新しい施設や道路を造るより、生活環境、自然環境をいかに維持し、保全していくかを考え、白馬でないと体験できない自然景観や地元住民との触れ合いを大切に、ハードよりもソフト面に力を入れるべき。またインバウンドの旅行者が増えるのに備え、スキー場や自然の景観保護のための「白馬ルール」を作り、周知に努めるべきでしょう。オリンピックのような一過性ではなく継続、持続可能な村づくり。□

- を目指して、壊れつつある生活基盤(サービス)を必要最低限でいいから維持する事。村民同士のつながりを再構築する事が望ましく思われます。／男／30歳代／自営業
- 山、川でのアウトドアスポーツのメッカになれる位、スポーツ環境を充実させて欲しい。そして、それらを観光業としても利用し、白馬村の大自然を活かした世界規模の一大リゾートになればうれしいです。／男／30歳代／その他
- 災害が起きる可能性が高いので、対応策を住民にしっかり知らせる事を希望する。／男／60歳代／自営業
- 村民アンケート調査で終わらないで欲しい。実行力のあるアンケートにして下さい。／男／60歳代／会社員
- 冬、外国人観光客の増加で、夜の治安が悪くなり、不安を感じます。村として、受け入れ対応、治安維持と一緒に考えてもらえればありがたいです。／男／60歳代／自営業
- 希望、アイデア等は、中学生、高校生など若い人々に尋ねたいかがですか。／男／60歳代／会社員
- 特産品を開発し、農業従事者を増やす中で、農地の有効利用を図る。／男／60歳代／農業
- ここ2～3年のスキー離れは、特に目立ちます。幼時の時から、雪になじむ方法を身につけさせ、楽しい事を身体で覚えさせる事が大事ではないかと思えます。／女／70歳以上／自営業
- 冬期の災害対策の充実。／男／60歳代／自営業
- 上水道平川余剰水の商品化。嶺方、フカミ沢の天然ガスの利用。／男／60歳代／自営業
- 車いすが低すぎる。／男／60歳代／自営業
- 村民の温泉利用の費用の割引等、温泉に入りやすくする。／男／60歳代／その他
- 白馬村には、政治、経済、教育、文化、美術、スポーツなど、各分野に豊富な経験と知識を有する人達が居住したり、別荘を持っています。良識のある外国人事業家や海外実務経験の長い日本人もいます。行政と(白馬を大事に思う)民間人との協力体制の構築、人材のネットワークの活用が大事です。よろしく願い申し上げます。／男／60歳代／自営業
- 八方也に外国人の住人が増えているのはいいが、後に廃家にならないか心配である。／男／60歳代／その他
- 山の景観は素晴らしいが、麓や生活地域の景観が良いとは言えない。住民参加で取り組むことは出来ないだろうか。観光客が白馬村に入った途端、他の村と違うと言えるような景観の良い村にしたら、長い目で見て観光の発展に繋がるのではないのでしょうか。／男／60歳代／会社員
- スポーツ合宿の誘致など、もっとスポーツ観光に力を入れるべき。索道主体の観光のように思える。／男／60歳代／自営業
- 減反で木や、かやであふれた田など、村民の協力で山野草等なくなっていくものがあるので、景観を良くし作ったらと思う。／女／70歳以上／その他
- 震災に遭って一時は離村しましたが、そこで感じた事は、白馬にて生活した毎日の暖かさ、人との触れ合いは、今までに思ったこともない楽しく、心にしみるものであると痛感した。そして一日も早く帰れることを願っていた。白馬が大好きであると再確認した。／女／70歳以上／自営業
- 白馬村内の国道、県道の道くらいは、ガタガタの道でなくスムーズに行ける道であって欲しい。第一の観光であると思う。／女／70歳以上／主婦
- 花などを植えるより、道路、家の周りなど、一人一人がきれいにする事。ゴミなどを拾うこと。犬などのフンの片付けなど思います。／女／70歳以上／主婦
- 国道脇に、不用品買い取り業者の集荷場が目立っていて、観光を売りにしている村の雰囲気壊していると思います。場所を移して欲しいと感じています。／女／70歳以上／その他
- 老人世帯が多くなっているの、今年のように雪が多い年は困りました。大型除雪機等に補助してくれる制度があれば、老人、女性でも、たいがいの除雪は出来ると思う。／女／70歳以上／その他
- 神城断層地震に遭遇したばかりの者にとっては、現在何も言えない立場にいます。周りの人々が何人元の場所に戻って来られるかなと思っている。あと何年かでのこの地区は無くなってしまいかも。若者が戻ってくる気がしないから。／女／70歳以上／その他
- 若者に希望が持てる社会作りをして下さい。／女／70歳以上／主婦
- 井の中の蛙にならない様、心すべきです。転入してからの方が、生まれて転入するまでより長くなりました。転出しようと思ったことはありません。初めの頃は、よそ者と言われ、悔しい思いも多々致しました。その感は今も皆無とは言えませんが、転入者(よそ者)の知識や柔軟な考えを心広くして取り込む男気(気がいい)のある白馬村となって欲しいものです。村民の子供達もいろんな所へ転出して、その先でよそ者扱いはされていないと思うので…。／女／70歳以上／主婦
- 高齢になり地区の人と小さな楽しみを見つけ、足の悪い人とか皆で助け合いながら楽しんでいます。あまりやりすぎて失敗する時もありますが、なんとか頑張っています。／女／70歳以上／自営業
- これだけの自然があるので、観光で栄える努力を村民もするべきです。人気のある観光地の魅力を勉強して、行政もそんな街作りが長い目で必要だと思います。／女／60歳代／主婦
- 国際社会の白馬になってきました。外国人が有りがたいと思っているなら、日本として白馬村としての外人さんへのルールを、村民同様にしていけないのですか。大切な問題だと思っています。／女／60歳代／自営業
- 白馬はやはり山がきれい(景色がよい)。山やスキー場運営会社と協力しつつ、村全体がオリンピック等の活気ある村民のやる気をどう出してもらうか、又、協力等していただくか。村政に期待します。コスト等もありますが、村全体の観光イベントを開催した方が良いと思う。各スキー場の雪まつり等は、村全体で。まずは第一歩から。／男／40歳代

／会社員

- 営業用タクシーは、降雪期でも4WDでなく坂道では走れない。一般の車では考えられないことです。村で冬、タクシーを利用して途中で降ろされてしまう。村民としても恥ずかしい。早急に何とかできませんが。／男／70歳以上／その他
- 弱小な宿泊業者が最も真剣に観光振興を考えている。観光局に各旅館組合単位の参加を促し、提案を引き出す。村民それぞれが全員、政治家である。村議員の諸経費を減らし、議員数を増やす。／-/-/-
- 子育てをする上で、交通便が悪いことで白馬村を出ざるを得なくなっている。住民が交通便が悪いと思っている以上に、観光客の方々はもっと便の悪さを感じています。住民が良いと感じない限り、観光客の方も感じないと思います。／女／40歳代／主婦
- 代々村内に住む人、村外、県外から移住した人、その第二世代、外国人…etc、白馬村内には多様な人が生活しています。全国的に見ても非常に特殊性のある地域だと思えます。冬季のスキー産業だけに依存せず、村自体が常に活力を持った状態になれることを願っています。／女／40歳代／自営業
- もう少し一つにまとまると、いいと思います。／女／40歳代／会社員
- 優秀な若者を村で育て帰って来て村の力となってもらえる様な体制作りが、急務だと思います。／女／40歳代／自営業
- 雪が解け、被災地の復興を願っています。／女／40歳代／その他
- 安全とのバランスもあるかと思うが、河川等に手を加えずすぎるのも自然破壊、景観破壊の一つだと思う。／女／40歳代／公務員
- 閉鎖的で不公平すぎる。／女／40歳代／主婦
- Iターンの人達の受け入れを充実。家など空き家を安く提供して(すごく安く)長く白馬村にいてもらう事。／女／40歳代／主婦
- 白馬村は観光地？ と思うような所がたくさんある。電線や公共交通機関など、整備されなさすぎる。どういう村にするのかの方向性が見えない!!温泉地？これだけ温泉があるのだったら〇〇温泉で売るべき(例、下呂温泉、草津温泉など)。ブランド化、重要だと思う。オフはお店が開いていない。／女／40歳代／会社員
- 村外からの住民の受け入れが充実すると良いと思う。アンケート集計、御苦労様です。これからの白馬村が栄えていく事が楽しみ。期待しています。／女／40歳代／公務員
- ・村には有能な才能の持ち主の方が退職されたりし、住んでいられます。この様な方々を話し合いの場を設け意見交換などは良いと思います。・関西方面のお客様のために、塩尻からの直通バス一往復だけでもあったら、集客に繋がるのではと思います。／女／60歳代／自営業
- この素晴らしい山岳景観の中での生活を求めて、他府県から移住してきました。出来る限り、余計な人口(例えば、

- 便利すぎる生活のための施設や環境)を加えず、それぞれの人が生活アドバイザー等に相談しながら、日々の生活を創意工夫し豊かな人生が送れるような村になったら良いと思います。生活アドバイザーとは(・村で生まれ育たれ今に至っている人。・長年村に生まれているベテラン白馬村民。・生活アイディアマン、ウーマンの方。)等。／女／60歳代／主婦
- ・自然や景観に頼りすぎて努力が足りない気がする。・全体の接客態度も問題。競争が無い「売ってやる」的な上から目線で接してくる。サービス精神が欠けているように思う。／女／60歳代／主婦
- 軽費で入居できる村営アパートがあれば、高齢者の一人暮らし減少、離れて暮らす家族の不安解消にもなるのではないのでしょうか。行政の目も届きやすくなると思います。／女／60歳代／主婦
- 戦略的な観光、特産品開発などの取り組みも行って欲しいと思います。空き店舗なども多いので、何かに活用してもいいのではと思いました。／女／60歳代／主婦
- 自然を壊さずに、登山、スキー場の高いレベルを維持して欲しい。／女／60歳代／主婦
- 外国のリゾートや観光地のような、景観が守られた美しい(看板やのぼり旗などの無い)清潔な村を目指して欲しいです。／女／60歳代／その他
- 昨年の地震により、地域を離れる家があります。災害にすぐ対処できる村づくりを希望します。／女／60歳代／主婦
- 観光重視の傾向にあり、住民生活が取り残されている。高齢者社会への取り組みを充実させる様に希望します。／女／60歳代／その他
- 高齢になると、冬の雪対策が大変になってきて、女では、白馬村での生活が難しくなっている現状。このまま白馬村に住みたいけれど…。／女／60歳代／会社員
- 住んでいる地域は自分達で整備していく様、なるだけ村の予算が限られているので、地域の発展になる使い方が出来ればと思う。自然資源を大事にしていきたい。／女／60歳代／主婦
- 少子化問題は仕方ない。若者の生活水準が高いので仕方ない。未満児保育を安くしても、働いていないのに入れたりしている。自然を上手く使い、公園整備の方に力を入れて欲しい。八方のゴミ捨て場前の石の公園は、もったいない。せつかく造ったのに、ほったらかしだ。村のお金で資格を公務員に取らせたり、観光アピールや出張中にFBにアップするのはどうかと思う。／女／60歳代／主婦
- 活力ある地域づくりを創出するには、地域に揺らぎを及ぼす様な斬新、先進的な取り組み、施策に投資すべき。あまり公平を意識しすぎても地域は豊かにならない(思い切った提案と支援が必要)。／女／60歳代／主婦
- 住みよい村づくりをお願いします。／女／60歳代／主婦
- 白馬村は美しい自然環境がありますが、より緑化を進めて日本一の美しい村にすべきです。／女／60歳代／主婦
- 空き家の再利用を考えて欲しい(少し改善して、一人暮らしの人が集まって共同生活をする。)。シニア世代がもっと積

- 極的に参加できるような運動＋遊びを兼ねた指導をしてくれる人材が欲しい。／女／60歳代／主婦
- 高齢者スポーツ活動の推進、充実、支援。／女／60歳代／自営業
- ステキな村です。／女／60歳代／主婦
- 村社会の温かさをなくしてはいけません。ボランティアはいくつの形があつていいと思います。その為にコーディネーターを育てて下さい。／女／60歳代／主婦
- 村に住みながら行政区に入らず、村に住む人がいるが、このままでは不公平である。はっきりとした行政区分をするべきだと思う。／女／60歳代／主婦
- 今度の地震で多くの方々が今でも苦境に立っておられる中、同じ村の人間として、何か役に立てる事がしたいと常々思っております。震災の時にもボランティアとして役場に向かいましたが、たいしたお役にも立たずに、終わってしまいました。隣の村の方々が、たくさん駆けつけて御飯を作ったりしている時に、同じ村人として、ただ見ているばかりで申し訳なく思いました。各地区の横のつながりが欲しいです。／女／60歳代／自営業
- 生涯にわたり生活するために、交通の利便とか、ゴミの回収とか、困った事がないようにする為にはどうするか。5年、10年、20年、30年先の観光村として、今から始める事を決めて、村民の力を結集し、アイデアを出していくにはどうしたらいいかを考えていきたいと思っております。／女／60歳代／自営業
- 転入して以来、概ね満足しています。最低限の文化的な生活は可能ですし、雪国ならではの不自由さも我慢できるレベルだと思います。将来の事となると心配です。村としての一体感がなく、経済も活気がありません。客観視から村のあり方を再考し、強い方向性を打ち出して頂きたいと考えます。／男／30歳代／会社員
- 観光に力を入れるよりも、子育てに力を入れる事で、住民は増えると思う。／男／40歳代／会社員
- 高齢者世帯への除雪に対しての補助、支援を充実させて頂きたい。／男／40歳代／会社員
- 村の人口が増えてきていますが、若い世代の人口が少ないように思うので、移住をしてもらえるように努力すべきだと思います。／女／50歳代／その他
- 家族の触れ合いや学力の充実を、あたかも妨げんかのような事業が多い。都市部に引けをとらない、学識の高い子供達を輩出できる環境を整えて、自立できる所にしたいと思います。ご検討お願いします。／女／40歳代／主婦
- 災害に強い村づくりの実現の一歩として、自主防災組織への消防団OBの積極的な参加と消防団との連携が必要。／男／30歳代／公務員
- 元気な村は、村民が楽しんでいないと出来ない。／男／50歳代／公務員
- もっと村民が白馬村の魅力を理解し、使える資源を有効に使って、村に来てくださる方が「また来たい」と思ってもらえるような、おもてなしが、行政と住民の協力で叶える事ができたらいいと思う。その為には、まず村民である私達が、

- もっと白馬村が好きになるような、魅力を発見できるような、活動の場をもっと作って欲しい。／女／20歳代／自営業
- 道路等も大事だが、大糸線の存続、維持するための施策が必要かと思うのです。「JR東日本とJR西日本の運転区分が違うため本数が少なくなる」と言うのは、利用者にとってみれば全く関係無い事で、「乗りたい時に乗れる」「直通運転して欲しい」「新幹線との接続を増やして欲しい」と良く聞きます。／男／40歳代／公務員
- 外人が入ってくる事は良い事だが、マナーの悪さが目立つ。対策等が必要だと思う。／女／20歳代／農業
- 防災情報やその他の緊急情報を広報する場合、広報無線だけでなく、スマホや携帯電話のようなメディアにも流して頂くことを切に希望します。白馬に住んで一度も広報無線の内容が聞き取れたことはありません。国道、電車、川を流れる水の音等々、チャイムの音しか聞こえず、聞き直しの電話番号も承知していますが、ほとんどの場合日中は屋外に居ることが多く不安を感じることがあります。ちなみに、時期により白馬は外人さんも多く滞在されておりスマホ等は所持されていると思います。こんなに大きな地震災害があつたにも関わらず、こうしてお越しくださる外国の方々に感謝しつつ、素晴らしい白馬を大好きになって欲しいと切に願っています。システム構築にはかなりの予算が必要かと思いますが、命が大切、お越しくださる海外の方が安心して白馬にご来村くださるよう努力することがより大切だと感じております。
- 白馬の素晴らしさをもっとアピールする手立てはないものでしょうか。よく八方尾根に登ります。八方池のほとりで沢山の自然を愛する方々とお話することがあります。海外にも何度も行かれたという方も多く、スイスアルプスやカリフォルニアのヨセミテにも何度か行ったという方もいらっしゃいました。皆様のお声の中には必ずと言って良いほど、白馬のこの景色は素晴らしい。ヨセミテ公園もとても美しいところだが白馬のここも引けを取らないほど素晴らしいパノラマだ。良い所に住んでいるね。羨ましいですよ。とおっしゃってくださった方もありました。このお褒めの言葉に、果たして住民である我々は応えることが出来ているのでしょうか。村民の一人ひとりが「本当のおもてなしの心」を持っているのでしょうか。スキー場の近くを散歩しているとよく声を掛けられ、場所を聞かれたりします。村内の案内板等にももっともっと工夫をしたり、それこそスマホに行きたい場所をナビゲーションできるようなアプリを無料で配布したりすれば喜んで貰えるのではないかと思ったりしています。それと、村内に少しの時間で散策できるステキな場所が結構あると思います。大出公園だけでなく、天神橋からの見事なパノラマ、松川橋からの眺め、グリーンスポーツの散策…。姫川源流、親海湿原、落倉湿原、大出の田圃からの雄大な景色……。木流し川からビオトープ付近も癒されます(但し、女性一人では気持ち悪いとおっしゃっていた方がいました)。足湯の場所、温泉の場所、料金、定休日など、ご案内する事柄はたくさんありますね。それと大切な

のは、目的地までの所要時間、徒歩、レンタサイクル、自動車など手段によってはかなりの差が出てくると思います。単発的には案内マップ、チラシ、各宿泊施設などで作っているマップなどがあるようですが、所要時間や信号機の名前、目印なども含めB4サイズ位の主要各国語で説明のあるものを作成し、駅で配布したりしてはどうでしょうか。(hakuba花物語エリアマップが好きですが目的地までの所要時間が欲しい。白馬小径もいいですが文字が小さいかな)白馬駅付近のインフォメーションセンターははっきり言って分かりづらいです。ある意味国際的な位置にある白馬駅なのですから、できれば駅舎内の場所(ストープの付近などすぐ目に付く場所)にお客様に最高のおもてなしを提供するコンシェルジュの方を配置して真心のおもてなしを提供できたら素晴らしいではありませんか。言葉に不安な海外の方も安心されるのではないかと思います。八方のパスストップまで行くには遠すぎます。山麓ツアーズさんも駅を出ないとわかりづらい。ちょっと立ち寄ってみようと思う感じではない。(あくまでも個人の感想です)富士や食堂(?)さんの隣にあった昔のインフォメーションセンターの方が、電車を降りても、車を降りても、バスを降りても、あそこで聞いてみようって目に留まるような気がします。10数年前から白馬に足を踏み入れ何度も通っていましたが、PCなどでイベントをやっていると知り、夜中に車を飛ばして来ては見たけれど何処でやっているのかも分からず、駅に行ってみようと立ち回っても何も無い。情報もない。案内所はどこ? なんか入りづらい…聞きづらい感じ。結局何もせずに美しい自然だけを眺めて、少々がっかりした気持ちで帰途に就いた思い出が何度かありました。コンシェルジュ役の方やナビゲーション役の方は、NPOやボランティアの方の中から探すことは出来ないのでしょうか。体力に自信はないが海外経験もあり白馬をよく知っている高齢者の域に入った、それこそやる気と時間はたっぷりあり何か役に立ちたいとチャンスを待っている方もおられると思うのですがいかがでしょう。子供や若い方はどんどん減っている。でも元気な、高齢者と呼ぶには早すぎる年代の人は増々増えている。お荷物と思う前年生き生きと白馬の為に頑張れる人を今から育てていくことが村の為になるような気がします。人はいくつになっても認められ、人の役に立つことを希望しているものだと思います。また、車の方をターゲットにするなら「道の駅白馬」のほとんど閉まっている農産物直売場の建物に「案内所」を設け、「今の白馬のおすすめ情報コーナー」なるものを置き、リアルタイムのライブ映像画面や写真などを掲示し、「車だからちょっと行ってみよう!」と思ってもらえるような案などはどうでしょうか。

個人的なことを書かせてください。昨年末から今年の1月にかけて、自分の生まれた故郷(茨城県北部)の道の駅で写真展に便乗出品する機会がありました。勿論、自分はプロでもないし、ただのカメラ好きの高齢者です。白馬が大好きで、村内や八方尾根、唐松岳など四季折々の心魅かれた被写体に向かいシャッターを押し続け撮りためた中から20数点を展示させてもらいました。年末年始の折でもあ

り、数百人の方々にご来場いただき、お言葉を残してもらうことが出来ました。場所柄、主に関東の方が多かったようですが逆に白馬の名前は知っていてもどんなところか知らない人も多く、感動の声を多く聞くことが出来ました。行ってみたいと思ってくださった方もいらしたように感じました。銀座中心の取り込みだけでなく、各地方の道の駅などを中心にパンフレットの配置依頼などを考えてはどうかと感じました。その中でも提言しかつたのは、「復興頑張ってください」と残してくださったメッセージでした。茨城北部は東日本大震災で大きな被害が出たところですよ。みず知らずの自分に同じ境遇の心をつかち合おうと投げしてくれたメッセージでした。自分も恐怖と不安の中での毎日でしたのでとても嬉しく勇気づけられました。そして、白馬のネームバリューの力強さを感じました。「学生時代に行ったことがある。またこの景色を見に行ってみよう」「65歳だけど俺にも登れるかな」展示場壁面いっぱいこんな爽やかな素晴らしい景色をありがとう。感動しました」「是非白馬に行ってみよう」「見事な景色に感動しました」などなど。沢山の方が白馬の素晴らしいパノラマを見て、これが白馬なんだ、白馬はスキーだけではなく、グリーンシーズンの美しさ、山々の雄大さを感じることが出来る素敵な場所なんだと感じてくださったようです。しかもこんな自分のスナップ同様の写真を見てくださって本当に嬉しく思いました。「白馬Hakuba」大切にしたいネームです。そして増々、多くの方にお越し頂きたいと思いました。

案内マップの作成や「白馬ちょっとタイムの歩き方」など役立つ情報作成の収集などは高齢になっても元気で役に立つことを望んでいる村内在住の高齢者の方にボランティアをお願いしたりすることには問題があるのでしょうか。震災のボランティアに申し込みをしたが、若い人でなければいけないって。高齢者は不要の様ですよって寂しそうに仰っていた方がいました。

色々書き連ねました。白馬に来て最初の頃、もともと白馬の素晴らしさを沢山の人に知ってもらいたいと思っていました。そんな新鮮だった移住民の心も何時しかどっぷり白馬の生活になじんでしまい、白馬の素晴らしさに慣れてしまう怖さを感じていたところでした。このままでいいのかと思ってた矢先、「アンケート」なるものが届きました。これ以上マンネリ化しないようにと自分自身への述懐をこめて思いつくまま書き出してみました。(生意気な意見もあるかと思いますがお許しください)何かの参考になれば幸いです。白馬は5か月前の災害で少々怪我をさせていただきました。今でも堀之内地区の姿を目にすると胸が熱くなります。でも負けません。白馬の雄大な自然はたとえ時間がかかっても必ず傷を癒し、元のように美しい姿で多くの皆様方をお迎えできると信じています。頑張ってください。復興作業、一日も早く完了し多くの被災された皆様方に本当の春が訪れますように祈念しております。

時折見せてくれる真っ青な青い空と素晴らしいアルプスの姿に「これが白馬だ! 負けないぞ」と心の底から思うのであります。村長さんを中心に役場職員の皆様方、どうぞ頑張

ってください。

END

追言

*転入されてきた方に、半年くらい後に白馬についてのアンケート等を出してみるのも良いのではないのでしょうか。だんだんと新鮮な感想が薄れてしまうのが常ですから。いろんな感想が新鮮なうちに聞けるのは白馬に初めて訪れる方の気持ちを知る一つのメリットになるような気がします。／
-/-/-

めに文化を感じさせる村づくりをお願いします。

主人が観光について、環境についてアドバイスができると言っています。彼の前職は経営戦略の最高責任者でした。スイスは観光業をどう立て直したかや、山岳地域での暮らしのアドバイスができるそうです。シェフラー。／-/-/-

○とにかく意見はたくさんある。まずは住みたいと思わせる村。私が村民として一番困っていることは、ゴミの問題です。恐らく各区での対応ということで動いているようですが、なぜ、村全体としてこの問題が解決できないのでしょうか。区への加入は任意ですので、非加入の家庭はどうなるのか。区(住んでいるエリア)によって、ゴミ収集という最も住民が必要とするものに差ができるのは、村に税金を納めている者にとって不公平であり納得がいきません。村は区に頼りすぎというか、本来村が解決すべき問題を押しつけているだけなのでは…？ぜひ、この区はこのやり方で収集。この区はこれというように。バラバラでなく村行政として、村民すべてが不公平がなく同様の扱いがされるようにしてください。正直、今までいろいろな地域に住んできましたが、行政のサービスというか、基本的な住むために必要なものが整っていない住みにくい村です。今後の少子化をふまえ、住民減少が明らかな中、どれだけ流出を抑え入ってくる人を増やすかは、まずこういった住民が住みにくいと思う問題を解決することです。

行政が住民に寄り添って村を育てることによって、住みやすい村、住みたい村になると思います。白馬村から出たことのない方は、他の自治体をもっと見てください。

もうひとつの気になること…

外国人に土地を売りすぎる。村に住んでいるのならよいのですが、別荘として土地、家を購入することは、年間どれだけの利用率か？ですが、利用しない間は放置なわけですよ。外国籍の別荘所有者は必ず管理会社をつける条件をつけるなどしないと大変なことになる。ニセコの二の舞にはならないでほしい。外国人旅行者が日本の文化を楽しみにやってきたのに、外国人しか住んでいないみたいと言っている。

観光だけに頼らず、自立した村を目指してほしいです。中央はあてにならないと思います。これからの時代を生き抜くには、自立した村が必要です。村内で全ての需要と供給がまかなえるくらいの村を目指してください。

観光だけに頼るのは危険ですが、ここは観光は切っても切れない産業だと思います。ここはラッキーなことに雄大な自然があるので人々が訪れてくれます。それ以外今は何もありません。雄大な自然がなくても訪れてもらうには何をすべきか。文化を残すことだと思います。古い街並みや歴史あるもののまわりには人は集まってきます。(京都、長野、奈良、小布施など。)残念なことに白馬はそれを捨て、文化がみられる所なんてほとんどありません。これから、後世のた